

地 域 指 定			昭和 50 年 3 月
当 初 計 画 認 可			昭和 52 年 3 月
計 画 見直し	第 1 回	公 告	平成 24 年 3 月
	第 2 回	公 告	平成 31 年 2 月
	第 3 回	公 告	令和 6 年 5 月

北 中 城

農業振興地域整備計画書

令和 6 年 5 月

沖縄県中頭郡北中城村

目 次

第1 農用地利用計画.....	1
1 土地利用区分の方向	1
（1）土地利用の方向	1
（2）農業上の土地利用の方向.....	7
2 農用地利用計画.....	8
（1）農用地区域.....	8
（2）用途区分	8
第2 農業生産基盤の整備開発計画	9
1 農業生産基盤の整備及び開発の方向.....	9
2 農業生産基盤整備開発計画	10
3 森林の整備その他林業の振興との関連.....	10
4 他事業との関連.....	10
第3 農用地等の保全計画	11
1 農用地等の保全の方向.....	11
2 農用地等保全整備計画.....	11
3 農用地等の保全のための活動.....	11
4 森林の整備その他林業の振興との関連.....	12
第4 農業経営の規模の拡大及び農用地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の促進計画...13	
1 農業経営の規模の拡大及び農用地等の効率的かつ総合的な利用に関する誘導方向.....	13
（1）効率的かつ安定的な農業経営の目標.....	13
（2）農用地等の農業上の効率的かつ総合的な利用に関する誘導方向.....	13
2 農業経営の規模の拡大及び農用地等の効率的かつ総合的な利用の促進を図るための方策..	13
3 森林の整備その他林業の振興との関連.....	14
第5 農業近代化施設の整備計画.....	15
1 農業近代化施設の整備の方向.....	15
2 農業近代化施設整備計画.....	15

3 森林の整備その他林業の振興との関連.....	15
第6 農業を担うべき者の育成・確保施設の整備計画.....	16
1 農業を担うべき者の育成・確保施設の整備の方向	16
2 農業就業者育成・確保施設整備計画.....	16
3 農業を担うべき者のための支援の活動.....	16
4 森林の整備その他林業の振興との関連.....	16
第7 農業従事者の安定的な就業の促進計画.....	17
1 農業従事者の安定的な就業の促進の目標	17
2 農業従事者の安定的な就業の促進を図るための方策.....	17
3 農業従事者就業促進施設.....	18
4 森林の整備その他林業の振興との関連.....	18
第8 生活環境施設の整備計画	19
1 生活環境施設の整備の目標	19
2 生活環境施設の整備計画.....	20
3 森林の整備その他林業の振興との関連.....	21
4 その他の施設の整備に係る事業との関連.....	21
第9 付 図	21
別 添	
1 土地利用計画図（付図1号）	
2 農業生産基盤整備開発計画図（付図2号）	
3 農用地等保全整備計画図（付図3号）…該当なし	
4 農業近代化施設整備計画図（付図4号）…該当なし	
5 農業就業者育成・確保施設整備計画図（付図5号）…該当なし	
6 生活環境施設整備計画図（付図6号）…該当なし	

第1 農用地利用計画

1 土地利用区分の方向

(1) 土地利用の方向

ア 土地利用の構想

北中城村は県都那覇市から北東部へ約16km、沖縄本島の中部東海岸側に位置している。

本村は北側を沖縄市、南側を宜野湾市や中城村、西側を北谷町といった二市二町村に接するとともに、東側は中城湾に面し、面積は11.54 km² ※1 となっている。

※1:「令和5年全国都道府県市区町村別面積調(令和5年1月1日現在)」国土地理院」



本村を含む沖縄県は亜熱帯海洋性気候帯に属し、四季を通じて温暖で年平均気温23.3度(最高26.0度、最低21.1度)、年平均湿度73%、年間降水量2,161mm、年間日照時間1,727時間となっている(那覇気象台:1991年~2020年の30年間。以下同じ)。夏季は30度を超える暑さが続き、冬季も比較的温暖である。降水量は梅雨や台風時に極めて多く、夏季から冬季にかけては少ないといった偏りがみられる。また、アジア季節風地帯(モンスーン地帯)に属し、季節風の影響を受け、年間を通して北東の風が多い。

本村の地勢は、中城湾に面した海岸低地と内陸部に広がる台地や丘陵地に大別される。丘陵台地は村の中央部と南部に分布し、この台地を更に二つの稜線が東西に走り、それぞれ南北への緩斜面を形成し、起伏が多い。斜面に広がる緑地が本村の景観の主要要素となっている。また、村内には普天間川をはじめ、渡口川や佐阿良川の3つの河川が流れている。

このように、本村は変化に富んだ地形である反面、平地が少ないことが特徴となっている。

本村の令和2年における総人口は国勢調査によると17,969人で、5年前の平成27年と比べて1,821人(11.2%)の増加となっている。また、総世帯数も令和2年は6,558世帯で、平成27年より18.3%の増加となっている。このような世帯増加を伴う人口増加は、都市化に伴う転入増や核家族化の進展などが背景と思われる。

本村の総就業者人口は令和2年の国勢調査によると、総人口の46%を占める8,200人となっている。産業別の総就業者に占める割合(就業構造)は、第一次産業が1.1%、第二次産業が15.6%、第三次産業が83.3%で、第三次産業に偏った構造となっている。

本村は変化に富んだ地形が多いため、まとまった農地の確保が難しい状況である。その中で、さとうきびやさやいんげん、並びにマンゴー及びパッションフルーツなどの亜熱帯の気候特性を活かした農作物が生産されている。しかし、近年は農業就業者の高齢化が急速に進行し、農業の担い手不足が深刻化しており、後継者に継承されない、または担い手に集積されないまま遊休化した農地が多くみられる。

農業は本村の基幹産業のひとつであり、今後の農業のあり方としては、農業生産法人や担い手の育成・確保に努め、県農地中間管理機構の指定を受けた（公財）沖縄県農業振興公社との連携、及び村農地バンクの活用促進等により遊休地を解消するとともに、農地流動化による経営規模の拡大を展開していくことが求められている。さらには、有用微生物群等を活用した多様な作目の生産を促進しつつ、本村の環境特性に応じた産地形成への取り組みが重要となる。

さらに、戦略型農業の推進の一環として、学習・体験等と一体となった多様な交流型農業展開促進や、起業家等による新たな農産物加工品等の開発及び販売普及支援を図ることが求められる。また、本村生産の農作物を北中城村産品アンテナショップ等を活用して、流通販売・食品加工等へ展開するなど、各産業との連携推進に努めていく。

本農業振興地域整備計画を策定するにあたっては、「沖縄県国土利用計画」、「沖縄県土地利用基本計画」、「北中城村国土利用計画」等における土地利用の原則及び「第3次沖縄県環境基本計画」の基本目標における基本方針、「生物多様性おきなわ戦略」等の趣旨を踏まえるとともに、地域住民の意向等を反映するものとした。

なお、本村の農業振興上必要とする生産基盤や近代化施設等の整備にあたっては、自然環境の保全に十分配慮すると共に、比較的大規模な開発を伴う場合には、当該整備事業の位置・規模等の検討段階において、沖縄県環境影響評価条例の適用等、環境担当課と相互調整を行うものとする。

また、沖縄県環境影響評価条例の対象とならない小規模な開発事業についても、第3次沖縄県環境基本計画における「環境への配慮指針」に基づき、環境の保全等に十分配慮するものとする。また、「文化財保護法」及び「沖縄県文化財保護条例」により保護されている周知の埋蔵文化財包蔵地や史跡名勝、天然記念物の取り扱いについては、文化財担当課との相互調整を行うものとする。さらに、事業実施にあたっては「沖縄県県土保全条例」、「沖縄県赤土等流出防止条例」等関係法令に基づく諸手続きを行い、環境の保全等に十分留意するとともに、「地球温暖化対策推進法」及び「気候変動適応法」の趣旨を踏まえ、温室効果ガスの排出対策の推進と併せて、農業分野における気候変動適応策の推進を図る。加えて、赤土等流出防止対策については、「第2次沖縄県赤土等流出防止対策基本計画」の趣旨等を踏まえた上で赤土等流出防止対策に積極的に取り組むものとする。

本村の農業振興地域面積は、都市計画市街化区域や旧米軍用地などを除く 658ha で、村域面積 1,154ha の 57.0%を占めている。農業振興地域の土地利用現況をみると、農用地が 81ha (12.3%)、農業用施設用地が 8ha (1.2%)、森林原野が 280ha (42.6%)、住宅地が 99ha (15.0%)、工場用地が 1ha (0.2%)、その他が 189ha (28.7%) となっている。

本村は中部圏域にあつて都市化が進展するとともに宅地需要も高く、農用地の他用途への転用希望も多い状況ではあるが、住民の生活環境と農業生産環境の整合性や調和の取れた土地利用を推進する。農用地は、農作物生産の基盤であると同時に、二酸化炭素の吸収作用など自然環境保全に資するものであることに鑑み、その保全及び確保に努めるとともに、他用途への転用については、集落内介在農地や集団性及び効率性に乏しい小規模農地などをあてるものとする。

なお、本農業振興地域における土地利用の移動構想は、今回の農業振興地域整備計画総合見直しの基礎調査における土地需要動向、並びに本村の10年後の社会経済情勢などを勘案し、おおむね次のとおり設定するものとする。

■農業振興地域における土地利用の移動構想

単位：ha、%

区分 年	農用地		農業用 施設用地		森林・原野		住宅地		工場用地		その他		合 計	
	実 数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
現在 (令和2年)	81	12.3	8	1.2	280	42.6	99	15.0	1	0.2	189	28.7	658	100
目標 (令和12年)	76	11.6	8	1.2	280	42.6	104	15.8	1	0.2	189	28.7	658	100
増 減	-5	-	0	-	0	-	5	-	0	-	0	-	0	-

(注) ①面積については、無地番を含む面積である。

②㎡単位の面積集計をha表記しているため、各値の合計と合計・比率等が一致しない場合がある。

③住宅地には、店舗及び事務所、学校敷地等を含む。

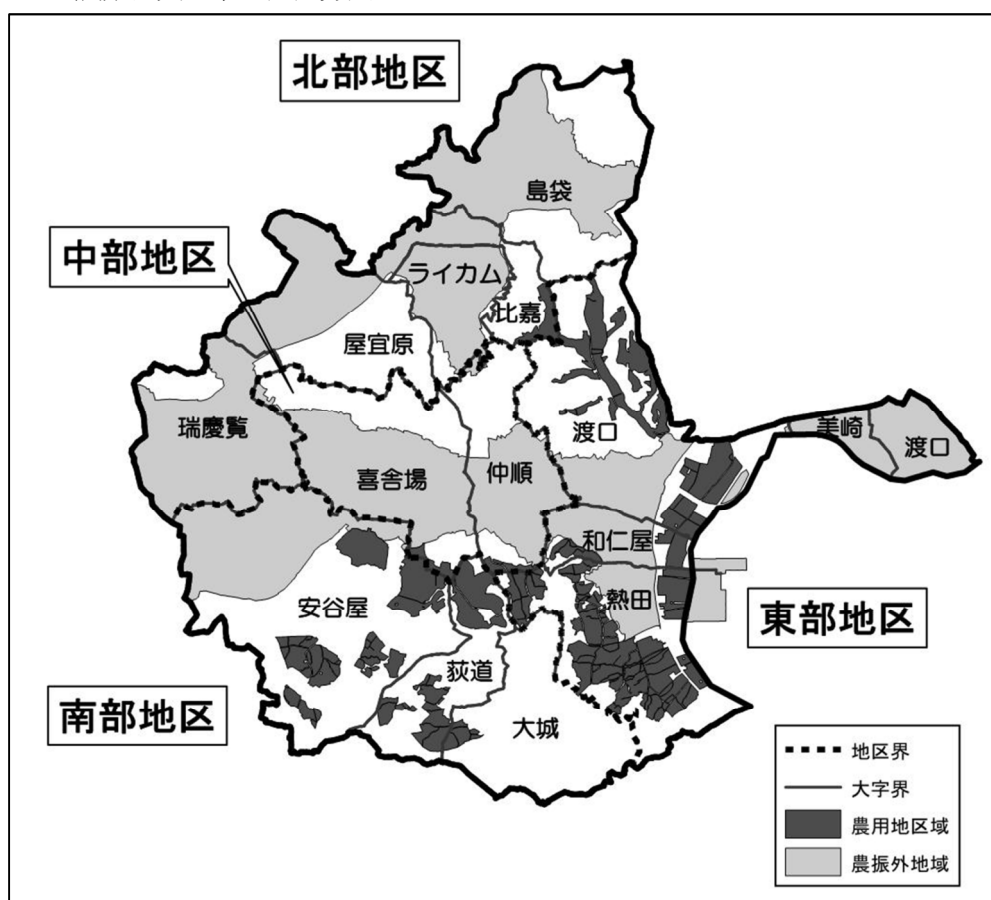
目標値 について	今回の総合見直し基礎調査における土地利用動向、農用地の用途変更目的や現況地目面積等及び今後の地域社会動向等を勘案し、農用地6%減、住宅地5%増を見込む。
-------------	--

イ 農用地区域の設定方針

本村の農業振興地域を以下の地区に区分する。

地 区 名	構成集落（大字名）	備 考
中部地区	喜舎場、仲順	
東部地区	熱田、和仁屋、渡口	
北部地区	比嘉	
南部地区	安谷屋、荻道、大城	

■農業振興地域地区区分図



(ア) 現況農用地についての農用地区域の設定方針

本農業振興地域内にある現況農用地 81ha のうち、a～c に該当する農用地で、次の地域・地区及び施設の整備に係る農用地以外の 63.7ha について、農用地区域を設定する方針である。

a 集団的に存在する農用地

10ha 以上の集団的な農用地・・・・・・・・・・ 21.0ha

b 土地改良事業又はこれに準ずる事業（防災事業を除く。）

の施行に係る区域内にある土地・・・・・・・・・・ 22.9ha

c a 及び b 以外の土地で、農業振興地域における地域の特性に即した

農業の振興を図るため、その土地の農業上の利用を確保することが

必要である土地で、下記の(a)・(b)・(c)を除いた土地・・・・・・・・ 19.8ha

(a) 集落内域内に介在する農用地で、団地規模が 2ha 以下の農用地	3.1ha
(b) 自然的な条件等からみて、農業の近代化を図ることが相当でないと認められる農用地	4.2ha
(c) 中心集落の整備に伴って拡張の対象となる農用地	10.0ha
※上記 (a) ～ (c) の農用地区域に含めない農用地面積合計 (＝農振白地区域に設定した現況農用地)	17.3ha

(イ) 土地改良施設等の用に供される土地についての農用地区域の設定方針

本農業振興地域に分布する「現況土地改良施設用地」（農道、溜池、排水路、法面等）の内、
(ア) において農用地区域を設定する方針とした現況農用地に介在又は隣接するものであって、
当該農用地と一体的に保全する必要がある次の 10.7ha について農用地区域を設定する方針である。

■農用地区域に設定する土地改良施設用地面積

地区名	土 地 改 良 施 設 用 地			
	道路等 (公衆用道路)	排水路等 (公有水面)	法 面 等	合 計
①中部地区	0.3	0.2	0.1	0.6
②東部地区	2.2	1.0	1.5	4.7
③北部地区	0.0	0.5	0.2	0.7
④南部地区	2.2	0.5	2.0	4.7
合 計	4.7	2.2	3.8	10.7

※㎡単位の面積集計を ha 表記しているため、各値の合計と表記合計が一致しない場合がある。

(ウ) 現況農業用施設用地についての農用地区域の設定方針

本農業振興地域に設置されている2ha以上の一団の農業用施設は無いが、他農用地区域と集団性のある0.4haについて、「農業用施設用地」として農用地区域の設定を行うものとする。

■2ha以上の一団の農業用施設

農業用施設の名称	位置（集落名等）	面積（ha）	農業用施設の種類
該当なし			

(エ) 現況森林・原野等についての農用地区域の設定方針

本農業振興地域に分布する現況農用地等に介在又は隣接する「現況森林・原野等」のうち、森林原野が有する生物多様性の保全及び二酸化炭素の吸収源、並びに水資源かん養や防風、防潮、風致等の諸機能を活用し、既存農地の保全及び魅力ある農村環境の形成に資するため、次の60.6haについて農用地区域を設定する方針である。

なお、農地への転用が比較的容易な原野等については、周辺農用地との一体的な利活用に努める。

■農用地区域に設定する森林・原野等面積

単位：ha

地区名	土地の種類・面積（ha）			所有権者 又は管理者	利用しようとする用途	備考
	森林・原野	雑種地等	合計			
①中部地区	0.5	0.0	0.5	私有地 公有地	農用地 農用地保全林 水源かん養林等	
②東部地区	44.0	0.8	44.9			
③北部地区	1.3	0.0	1.3			
④南部地区	13.8	0.1	13.9			
合計	59.6	0.9	60.6			

※㎡単位の面積集計をha表記しているため、各値の合計と表記合計が一致しない場合がある。

(2) 農業上の土地利用の方向

ア 農用地等利用の方針

本村の農業振興地域は658ha であるが、前述の農用地区域の設定方針で示したとおり、農業振興地域面積の20.6%にあたる135.4ha(農地74.4ha、農業用施設用地0.4ha、森林・原野等60.6ha)を農用地区域に設定するものとする。

■農用地区域における用途区分面積の設定

単位：ha

	農 地			採草放牧地			農業用施設用地			計			森林・ 原野等
	現況	将来	増減	現況	将来	増減	現況	将来	増減	現況	将来	増減	
①中部地区	2.9	2.9	0	－	－	－	0.0	0.0	0	2.9	2.9	0	0.5
②東部地区	36.9	36.9	0	－	－	－	0.2	0.2	0	37.1	37.1	0	44.9
③北部地区	2.4	2.4	0	－	－	－	0.0	0.0	0	2.4	2.4	0	1.3
④南部地区	32.2	22.2	0	－	－	－	0.2	0.2	0	32.4	32.4	0	13.9
計	74.4	74.4	0	－	－	－	0.4	0.4	0	74.8	74.8	0	60.6

(注) 農用地区域の各用途区分面積は、有地番面積を集計したものである。
土地改良用施設用地は農地区分に含む。

今後とも赤土等の流出防止や温室効果ガスの排出抑制などの必要な環境配慮を行いつつ、農業生産基盤や近代化施設の整備等により、野菜類やさとうきび及び花き類などを振興し、効率的かつ安定的な農業経営の育成に努める。

イ 用途区分の構想

① 中部地区（喜舎場、仲順）

本地区は村中央部に位置し、南部地区と一体となった農用地利用であり、今後とも耕種農業を農地区分として設定する。

② 東部地区（熱田、和仁屋、渡口）

本地区は村の東側に位置し、農用地区域は内陸部の丘陵地と海岸側の平地に分布しているが、熱田・和仁屋については土地改良事業などの生産基盤整備は実施されていない。

本地区においても今後とも中心となる耕種農業を農地区分として設定する。

③ 北部地区（比嘉）

本地区は村の北側の起伏の多い内陸部に位置し東部地区と一体となった農用地利用であり、今後とも耕種農業を農地区分として設定する。

④ 南部地区（安谷屋、荻道、大城）

本地区は村南西部の広い範囲に位置する。

本地区の農用地区域は県道宜野湾・北中城線より南側に分布し、2地区（荻道底田地区、安谷屋地区）が土地改良事業で基盤整備されており、今後とも中心となる耕種農業を農地区分として設定する。

2 農用地利用計画

（1）農用地区域

（2）用途区分

別記のとおりとする。（農用地利用計画：22 頁参照）

第2 農業生産基盤の整備開発計画

1 農業生産基盤の整備及び開発の方向

本村の農業振興地域の面積は658ha で、そのうちの20.6%にあたる135.4ha を農用地区域に設定する。これまで4地区の土地改良事業が行なわれてきたが、今後は未整備地区のほ場整備や農道整備事業などの推進に努める。

① 中部地区（喜舎場、仲順）

本地区の農用地区域面積は3.4ha である。

本地区は南部地区と一体となった農用地利用である。

今後とも、農道や排水路などの再整備や農業用水の確保を推進し、これらの生産基盤を活かした効率的で収益性の高い都市近郊型農業の推進に努める。

② 東部地区（熱田、和仁屋、渡口）

本地区の農用地区域面積は82.0ha である。

本地区は地形に起伏の多い内陸部と平坦な海岸部に農用地区域が分布している。起伏の多い内陸部の内、昭和58年度に渡口地区団体営かんがい排水事業で排水路(1,302m)、昭和61年度に渡口地区土地改良総合整備事業によりほ場整備(受益面積18.5ha)や幹線農道整備(1,085m)が完了している。

また、これまで農道整備が昭和51年度に団体営農道整備事業（熱田地区：農道1,300m）で実施されているが、土地改良事業などの面的な基盤整備が行なわれず、農業経営の効率性に課題を抱えている。

今後とも農家の意向を踏まえつつ、土地改良事業などの生産基盤整備事業の導入を推進するとともに、農道やかんがい施設の整備を図り、効率的な土地利用に努める。

なお、地形的に平坦な海岸部は、都市的な土地利用の需要が多いため、今後、総合的な土地利用の推進を検討していくものとする。

③ 北部地区（比嘉）

本地区の農用地区域面積は3.7ha である。

本地区は地形に起伏の多い内陸部に位置し東部地区と一体となった農用地利用である。

今後とも、農道や排水路などの再整備や農業用水の確保を推進し、これらの生産基盤を活かした効率的で収益性の高い都市近郊型農業の推進に努める。

④ 南部地区（安谷屋、荻道、大城）

本地区の農用地区域面積は 46.3ha である。

本地区では昭和 55 年度に荻道底田地区の区画整理(受益面積 7.1ha)や畑地かんがい（同 4.2ha）が農業構造改善事業で完了するとともに、平成 5 年度に安谷屋地区土地改良総合整備事業によりほ場整備(同 12.2ha)や幹線排水路(787m)の整備が完了している。

今後とも、農道や排水路などの再整備や農業用水の確保を推進し、これらの生産基盤を活かした効率的で収益性の高い都市近郊型農業の推進に努める。

2 農業生産基盤整備開発計画

単位：ha

事業種目	事業の概要	受益範囲		対図 番号	備 考
		地区	面積		
団体営農業基盤 整備促進事業	区画整理、畑かん施設	熱田	10	①	
県営農地 整備事業	畑かん施設	渡口	23	②	沖縄市与儀地区と 合同整備

資料：北中城村農林水産課

※ 農業生産基盤整備開発計画図（別添）

3 森林の整備その他林業の振興との関連

本計画の策定にあたっては、沖縄中南部地域森林計画及び北中城村森林整備計画との整合性を保つものとする。

4 他事業との関連

なし

第3 農用地等の保全計画

1 農用地等の保全の方向

本村の地勢は、中城湾に面した海岸低地と、内陸部に広がる台地や丘陵地に大別されるが、普天間川・渡口川・佐阿良川の3河川が村内を横断しているため、変化に富んだ地形となっている。また、ジャーガル土壌が広く分布しているため、一部地域においては土壌流出の起きやすい条件下にある。

本村は中部圏内における中核都市である沖縄市及び宜野湾市に隣接しているため、都市化にともなう農地の他用途への転換や宅地化が進行するとともに、農地の資産化状態による耕作放棄地の増加や農地流動化が停滞するなど、農用地を取り巻く状況は厳しいものとなっている。

しかしながら、農業のもつ高いポテンシャルは本村経済の重要な活力であり、今後とも都市的土地利用との整合性を考慮しつつ自然災害などからの農用地等の保全とともに、耕作放棄地の解消など農用地の積極的な利活用に努める。

2 農用地等保全整備計画

該当なし

3 農用地等の保全のための活動

農用地等を自然災害などから保全するとともに、耕作放棄や管理不十分による農用地等の機能低下を防止するための活動、並びに耕作放棄地の発生防止や農用地等の多面的機能を確保するため、以下のような方策の展開に努める。

① 農用地等の土壌流出防止に関する啓発

農用地及び周辺土壌の流出防止に資するため、地域の地形や土壌などの自然環境の詳細把握に努める。さらに、農家などに対して耕土流出防止に関する支援及び普及啓発活動を推進し、農用地や海域環境の保全に努める。

② 農地保全活動に対する支援

農用地が重要な地域資源であることに鑑み、土地所有者に対し、村や農業委員会及び担い手育成総合支援協議会が積極的な指導や調整活動を行い、農用地の保全に努める。

③ 耕作放棄地などの保全管理の支援

本地域に分布する耕作放棄地や管理不十分な農用地に対して、その発生原因などの調査分析に努めるとともに、「北中城村農業経営基盤の強化に関する基本的な構想」などに基づき、農地保有合理化事業の啓発宣伝活動や耕作放棄地解消対策事業等を推進し、耕作放棄地の発生防止に努める。

4 森林の整備その他林業の振興との関連

森林は防風、防災、地すべり防止などの国土保全機能とともに、生物多様性の保全、水質環境保全、風致や生活環境保全といった多様な機能を有している。これらの諸機能は農地保全や農業生産性の向上にも資するものであることから、これら諸機能が発揮できるよう保存に努めるとともに、必要に応じて農用地との一体的な整備を図る。

なお、本計画の推進にあたっては、「沖縄中南部地域森林計画」や「北中城村森林整備計画」との整合性を保つものとする。

第4 農業経営の規模の拡大及び農用地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の促進計画

1 農業経営の規模の拡大及び農用地等の効率的かつ総合的な利用に関する誘導方向

(1) 効率的かつ安定的な農業経営の目標

農業者が他産業従事者と比較してそんな色のない所得を確保しうる効率的かつ安定的な農業経営を実現するためには、収益性の高い農業形態の導入や担い手の育成とともに、農用地の流動化や集積化などによる生産規模の拡大を図る必要がある。

今後、農業を主業とする農業者一人あたりの年間農業所得を360万円程度、年間労働時間として2,000時間程度を目標とし、農業が職業として選択され、魅力とやりがいのあるものとなるよう振興を図る。

(2) 農用地等の農業上の効率的かつ総合的な利用に関する誘導方向

本村の農業はさとうきびを中心に野菜や果樹、花きなどの生産が行われている。近年は農家の高齢化が急速に進行し、農業の担い手不足が深刻化しており、農業後継者に継承されない又は担い手に集積されない遊休化した農地が多くみられる。

今後は、担い手などに農用地の利用集積を図るため地域内農地の保有及び利用状況の把握を強化し、耕作放棄地の発生防止や解消を図るとともに、経営規模の拡大と農地の高度利用の推進に努める。

具体的には、耕作放棄地再生利用緊急対策事業、農地移動適正化あっせん事業、利用権設定等促進事業、農地保有合理化事業等の各種流動化対策を実施するとともに、村や農業委員会及び担い手育成総合支援協議会との連携のもとで耕作放棄地に対する指導を強化し、農用地等の効率的かつ総合的な利用の促進に努める。また、農地中間管理機構との連携及び村農地バンクの活用促進等により、遊休地解消を図るとともに、農地流動化による経営規模の拡大を展開する。

さらに、地域農業集団及び農業生産組織などとの連携のもと、農作業の共同化及び受委託の推進、農業経営基盤強化促進事業の活用、地域ぐるみの営農体制の確立に努める。

2 農業経営の規模の拡大及び農用地等の効率的かつ総合的な利用の促進を図るための方策

本村は前述のように零細規模農家が多いことから、今後、農業経営の規模拡大及び農用地等の効率的かつ総合的な利用を図るため、以下のような方策の展開に努める。

① 農用地の流動化対策

農用地の流動化対策として、耕作放棄地及び耕作放棄地となるおそれがある農地のうち、今後、農業上の利用促進を図る必要がある土地を区分ごとに把握し、各種指導や事業の導入によりその解消に努める。

具体的には、農業委員会を中心とする農地の貸し手や借り手の掘り起こし活動、並びに相談・指導・啓発、情報提供等を実施するとともに、農地移動適正化あつせん事業、利用権設定等促進事業及び農地保有合理化事業等の各種流動化施策の展開のほか、農地中間管理機構の指定を受けた（公財）沖縄県農業振興公社との連携及び2014年設立の村農地バンクの活用を推進する。

② 農業生産組織の育成強化

農用地の集団的活用や育苗・栽培管理・出荷業務の共同化、農業機械の共同利用等各種の農業経営の改善に資するため、担い手を中心とする作物別農業生産組織の育成強化を図る。

③ 農作業の共同化の促進

地域農業集団や農業生産組織の育成強化を図るなかで、各種農作業の共同化の促進に努める。

④ 農作業の受委託の促進

農業従事者の高齢化や後継者不足並びに第二種兼業農家の増加等に伴う農業経営の粗放化を防止するとともに、農業生産性の安定向上を図るため、地域ニーズの動向を把握しながら農作業の受委託を促進する。そのため、農業機械の充実とオペレーター等の育成に努める。

⑤ 地力の維持増進対策

農地土壌は作物栽培の基盤をなすもので、土づくりは農業生産の向上を図る上で極めて重要である。そのため、有機質肥料の投入や堆肥の畑地還元、減農薬栽培等に努めるとともに、畜産農家と耕種農家が連携し有機的な結合を図り、地力の維持増進に努める。

3 森林の整備その他林業の振興との関連

本計画の策定にあたっては、「沖縄中南部地域森林計画」及び「北中城村森林整備計画」との整合性を保つものとする。

第5 農業近代化施設の整備計画

1 農業近代化施設の整備の方向

本村の農業は、さとうきびや果樹・花き類及び野菜類の耕種農業を中心に行なわれている。今後これらの農作物振興のため、ほ場や農道及びかんがい施設などの生産基盤の整備とともに、耐候性ハウスや防風防虫等ネット栽培施設などの近代化施設の整備を積極的に推進し、更には水耕栽培施設の活用に取り組むなど農業経営の近代化促進に努める。

① さとうきび

さとうきびは近年、生産者の高齢化や兼業化及び他作物への転換などが進み、収穫面積や生産量とも減少傾向にある。

今後は、収穫用機械や集中脱葉機械等の活用を図るとともに、共同利用組織や農作業受委託組織を育成し、農作業の効率化や省力化に努める。

② 野菜類

野菜類は本村における都市近郊型農業を確立する上で、中心となる重要な作目であるが、近年、耕地面積や生産量が減少傾向にある。今後は、気象条件や病害虫等の影響を抑え安定的な生産を図るため、耐候性ハウスや防風防虫等ネット栽培施設、水耕栽培施設並びに共同利用施設等の近代化施設の整備に努める。

③ 果樹類

本村の果樹類はパッションフルーツを筆頭に、マンゴー、ドラゴンフルーツなどの熱帯果樹が栽培されている。今後は、気象条件や害虫等の影響を抑え安定的な生産を図るため、耐候性ハウスや防風防虫ネット栽培施設の整備に努める。

④ 花き類

本村の花き類は、ドラセナ栽培を中心に行われている。花き類の生産は露地栽培が多いため、気象条件に左右されやすく品質や生産量も不安定な状況にある。

今後は、気象条件や病害虫などの影響を最小限に抑えるため、耐候性ハウスや防風防虫等ネット栽培施設、並びに共同利用施設等の近代化施設の整備に努める。

2 農業近代化施設整備計画

該当なし

3 森林の整備その他林業の振興との関連

本計画の策定にあたっては、「沖縄中南部地域森林計画」及び「北中城村森林整備計画」との整合性を保つものとする。

第6 農業を担うべき者の育成・確保施設の整備計画

1 農業を担うべき者の育成・確保施設の整備の方向

本村では、農業就業者の高齢化や離農などによる農業者の減少、農業後継者不足が農業生産の維持及び発展にとって深刻な課題となっている。安定的かつ効率的な地域農業の確立のためには意欲ある認定農業者の育成に加え、多様な就農経路を通じた新規就農者の確保が必要である。

今後、認定農業者の育成及び高齢者や女性を含めた新規就農者に対する就農支援策として、他産業なみの所得水準を実現できる魅力ある農業構造の確立を目指し、担い手となる経営体の育成や新規農家が参入できる環境づくりに努める。

2 農業就業者育成・確保施設整備計画

該当なし

3 農業を担うべき者のための支援の活動

農業を担うべき者のための支援活動については、村や農業委員会及び村担い手育成総合支援協議会が農業改良普及センターなどとの連携のもとで行う経営診断の実施、並びに経営管理の合理化等の経営改善方式の研修会などの各種支援活動の強化促進に努める。

4 森林の整備その他林業の振興との関連

本計画の策定にあたっては、「沖縄中南部地域森林計画」及び「北中城村森林整備計画」との整合性を保つものとする。

第7 農業従事者の安定的な就業の促進計画

1 農業従事者の安定的な就業の促進の目標

本村の経済は、第三次産業を中心に発展している。令和2年の産業別就業人口をみると、第一次産業は92人(1.1%)、第二次産業は1,281人(15.6%)、第三次産業は6,827人(83.3%)となっている。近年、第一次就業人口は減少傾向だが、第二次産業、第三次産業の就業人口は増加している。

こうした中で、本村農業の安定向上を図るため、都市近郊型及び環境保全型農業を中心に地域特性を活かした収益性の高い農業経営を推進することにより、担い手や専業農業者の増大を図るとともに、兼業農業従業者の就業機会の確保に努める。また、地域農林水産物などを活用した第二次産業や観光関連産業の振興を促進し、地域の雇用拡大に努める。

■農業兼業従事者の他産業への就業目標

単位：人

就業形態	就 業 地								
	村 内			村 外			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
恒常的勤務	16	5	21	16	5	21	32	10	42
自営兼業	10	3	13	9	3	12	19	6	25
出 稼 ぎ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日雇・臨時雇	3	1	4	4	1	5	7	2	9
計	29	9	38	29	9	38	58	18	76

目標値の ・基礎資料編における第8「農業従事者の他産業就業の現状」を基礎とする。

推計方法 「農業兼業従事者数」は2021（R3年）アンケート調査による実数

- ・農業振興の観点から農業従事者総数は現状維持を目指す(出稼ぎゼロ維持を見込む)。
- ・恒常的勤務、自営兼業は現状程度、村内就業者比率は50%を目標とする（現状は約30%(R3年アンケート調査より)）

2 農業従事者の安定的な就業の促進を図るための方策

上述1の「農業従事者の安定的な就業の促進の目標」を達成するため、次の方策を講ずるものとする。

① 農業従事者の就業意欲を把握するための方策

農家の各種意向調査や生産組織などのヒアリング等を通じ、農業従事者の農用地保有状況や営農形態及び農業経営に対する将来意向、並びに他産業への就業意向等の把握に努める。

② 農業従事者に対する就業相談活動の強化

各種の意向調査などに基づき、村や関係機関及び関係団体の連携のもとに各種営農相談や就業指導等を推進し、農業従事者の育成とともに安定的な就業の場の確保に努める。

③ 地域農林水産業及びその他地域資源の利活用による地場産業への就業機会の確保対策

本村で産出される農作物及び水産物などの地域資源を活用した地場産業を振興し、原材料としての農林水産物の需要喚起とともに、地域特産加工品としてのブランドの定着化と就業機会の拡大に努める。

さらに、東海岸に接している本村にあって、海洋資源を活用したマリンレジャーやブルーツーリズムなどの観光関連産業を振興し、就業機会の拡大に努める。

④ 上記対策を円滑に推進するための体制整備に関する対策

上記に掲げた諸対策を円滑に推進するため、村や農業委員会、農業協同組合、農業改良普及センター、商工会などの関係団体で構成する協議会の設置を検討し、就業意向の把握や就業相談等を推進するとともに、農業従事者の安定的な就業の場の確保と農家経済の健全な発展に努める。

3 農業従事者就業促進施設

該当なし

4 森林の整備その他林業の振興との関連

本計画の策定にあたっては、「沖縄中南部地域森林計画」及び「北中城村森林整備計画」との整合性を保つものとする。

第8 生活環境施設の整備計画

1 生活環境施設の整備の目標

本村は都市化の進行に伴い、農家の減少や高齢化が進むとともに、住民意識や生活様式の多様化、並びに農家と非農家の混住化が進行し、かつての共同体としての集落機能は失われつつある。

しかし、農村地域においては依然として、地域住民の生活と近接して農業活動が営まれており、農道の生活道路機能、農業用水の地域用水機能、農業排水路の地域排水路機能などの相互機能が一体的に利用されている。農業者が農業に誇りと生きがいを持って生産活動を営むためには、農業者が生活を営む場を良好な居住地域として形成し、保全していくことが極めて重要である。

このような状況を踏まえ、今後とも、農村特有の自然環境や景観及び歴史的風土などを活かしつつ、農業生産並びに生活環境の両面にわたる一体的かつ総合的整備を推進し、農業者が生涯にわたって生活を営む場としての集落機能の維持強化と住民の連帯感の高揚を図るとともに、魅力に満ちた地域社会の形成に努める。

(1) 安全性

災害が発生した場合も速やかに避難・復旧対応ができる、自助・互助・共助・公助の体制づくりを進めながら、災害に強い環境整備や防災拠点形成、防災に対する普及啓発を進める。

消防・救急については中城村と一部事務組合を結成し、消防・救急業務に対応している。救急出動が毎年増加傾向にあり、災害なども想定し民間医療機関と連携した救急受け入れ態勢の強化が必要となっている。

(2) 保健性

本村のゴミ処理は5種分別収集を実施している。今後とも継続してゴミの減量やリサイクルに努めるほか、農地を中心に増加傾向にある不法投棄への対策を強化することが求められる。

上下水道については、上水道は普及率100%で、ライカム地区においても整備が既に行われており、水の安定供給と安心して使用できる水質の保持が図られている。今後は、老朽化している既存施設の適正な更新など、水道施設の維持管理や改良に努める。下水道については、整備の推進が図られ、平成28年度(2016年)から平成29年度(2017年)において水洗化率が人口普及率を上回ったものの、更なる接続率向上や環境負荷の低減に向けた啓発などが求められている。

ハブ・害虫・野犬などの対策については、継続して適切な捕獲・駆除対策を実施するとともに、生息域や発生源の解消につながる取り組みを図る。

(3) 利便性

本村は、中南部の中核都市を結ぶ位置にあり、沖縄自動車道の北中城インターチェンジと喜舎場スマートインターチェンジが立地し、国道 329・330 号が南北に走るなど、交通要衝となっているが、交通の利便性の良さから交通渋滞の慢性化や、生活道路への通過交通の進入も見られることから、適正な交通ネットワークの形成が求められている。

今後は、活力ある地域社会の実現や、地域交流、連携強化のため、喜舎場スマートインターチェンジのフルインター化の促進を図るほか、県道宜野湾北中城線（県道 81 号線）等の広域道路と中城公園アクセス線等の村内主要生活道路を含め、円滑な交通ネットワークの形成に努める。

また、県による基幹バスを含む新たな公共交通システムと連携し、少子高齢化や観光需要などに対応したコミュニティバスなど新たな公共交通の導入を検討し、誰もが不自由なく移動でき、社会参加が行えるよう公共交通の充実を図る。

(4) 快適性

本村では、住民の交流の場である「あやかりの杜」「中央公民館」「各自治公民館」「しおさい公苑」等を拠点に、子ども会や青年会等のほか各種サークル等による各種活動や大会等が行われている。

村が開講する講座については、趣味やキャリアアップ、地域課題に向き合う各種講座等、住民ニーズに対応したテーマ・手法に創意工夫を図るほか、人材育成や各種団体等の交流活動を推進する。

また、自治公民館等を中心に地域コミュニティ活動や、学習交流拠点「あやかりの杜」の活用、他生涯学習関連施設間の連携により効率的な活用を図る。

スポーツ・レクリエーション等については、村民が気軽に運動できるよう村民体育館の利活用促進を図るほか、各種イベント開催やスポーツサークルの活動支援を行うほか、本村スポーツの基本施策である「スポーツ推進計画」の策定に努める。

(5) 文化性

本村の歴史文化資源等の保全・整備・活用施策として、県営中城公園・世界遺産中城城跡周辺の一体的な活用に向けて関係機関との連携を図るほか、村内旧跡・祭祀等の歴史風致資産に関する調査を推進し、本村独自の歴史を踏まえたまちづくりに取り組む。

また、村関連歴史資料の収集を進めつつ、文化財・歴史風致資産・村収蔵民具に関するデータベース等をホームページ上に公開し、これらの文化資源の情報発信及び普及活用を図る。

郷土歴史学習及び普及の推進については地域や学校教育と連携し、文化財の現地学習を含めた総合的学習機会を提供するほか、地域文化活動や交流活動においては文化協会への支援や伝統芸能等の後継者育成を促進し、日頃の文化活動発表や伝統芸能の披露等が行える場の提供を図る。

2 生活環境施設の整備計画

該当なし

3 森林の整備その他林業の振興との関連

本計画の策定にあたっては、「沖縄中南部地域森林計画」及び「北中城村森林整備計画」との整合性を保つものとする。

4 その他の施設の整備に係る事業との関連

該当なし

第9 付 図
別 添

- 1 土地利用計画図（付図1号）
- 2 農業生産基盤整備開発計画図（付図2号）
- 3 農用地等保全整備計画図（付図3号）…該当なし
- 4 農業近代化施設整備計画図（付図4号）…該当なし
- 5 農業就業者育成・確保施設整備計画図（付図5号）…該当なし
- 6 生活環境施設整備計画図（付図6号）…該当なし

別 記

(農 用 地 利 用 計 画)

別記 農用地利用計画

(1) 農 用 地 区 域

ア 現況農用地等に係る農用地区域

本村における次表の「区域の範囲」欄に含まれる土地のうち、次項以降の別表「農用地区域に含める地番」欄に掲げる土地を農用地区域とする。

■ 農用地区域の字別総括表

地区名	区 域 の 範 囲	
	大 字	小 字
東部	熱田	前上原、上原、後上原、加井真川原、仲里原、高辻原 前原、真志礼原、浜原
	和仁屋	浜田原、上原
	渡口	後原、西門原、下原、前原、伊部佐原、雛具原、前田原 平田原
中部	喜舎場	東前原
	仲順	前原
南部	安谷屋	前原、赤畠原、上原、久間良原、樋川原、鎌下原、東後原 西後原
	荻道	西原、前原、亀甲原、平田原、樋川原、底田原
	大城	門田原、登原
北部	比嘉	東原

(上記以外は農用地区域外)

地 区 区域名	区域の範囲		農用地区域に含める地番 （ 現況森林・原野等）					
	大 字	小 字						
東部	熱田	前上原	396-1	397-1	397-3	397-4	398-1	399
			400	401-1	402-1	403-1	404	405-1
			405-4	407-1	408-1	409-1	410	411-1
			412	413-1	414	415	416-1	418
			419-1	420-1	421-1	422-1	422-3	423-1
			423-4	424-1	425-1	426	427-1	427-2
			428-1	428-2	430	431	432	433
			434	435	436	437-1	437-2	438
			439-1	440-1	441-1	443	446	447
			448	449	450	451	452	453
			454	455	456-1	457-1	457-2	458
			459-1	460	461	462-1	463-1	464-1
			465	466-1	467	468	469	470
			471-1	472-1	499-1	500	514-1	
		上原	534	535	541	542	543	544
			545	546	547	565-1	567	568-1
			569	570	571	572	573	574
			575	576	577-1	578-1	579-1	580-1
			581-1	582-1	583-1	584	585-1	586-1
			587-1	589-1	590-1	591-1	593-1	594-1
			595	609-1	610	611	612	613
			614	616-1	617	619	620	621
			622	623	624	625	626	627
			628	629	630	631	632	633
			636-1	637	638	639	640	641
			642	643	644	645	646	647
			648	649	650	651	652	653
			654	655	656	657	658-1の一部(別図1)	
			659-1	662-1	663-1	664-1	666	668
			669	671	673	675	678-1	
		後上原	685	686	687	688	689	690
			695	696-1	696-2	697	698	699
			700	701	702	703	705	712-1
			712-2	713	714	715	716-1	716-2
			717-1	717-2	718-1	718-2	719-1	719-2
			719-3	719-4	719-5	726	727-1	727-2
			727-3	728-1	728-2	729-1	729-2	729-3
			730-1	730-2	730-3	754-1	755	761-1
			761-2	761-3	762-1	762-2	763	764-1

地 区 区域名	区域の範囲		農用地区域に含める地番 （ 現況森林・原野等）					
	大 字	小 字						
東部	熱田	後上原	764-2	765-1	765-2	766-1	766-2	766-3
			767	768	781	786	787-1	787-2
			788	789-1	790	791	792-1	793-1
			793-2	794	795	796	797	799-1
			799-2	800-1	800-2	801-1	801-2	802
			803	804	805	806-1	806-2	807-1
			807-2	808	809	810-1	810-2	811-1
			811-2	812-1	812-2	813-1	813-2	814-1
			814-2	816-2	817-1	817-3	818-1	818-4
		加井真川原	848-1	849-1	850-1	851-1	851-3	852-1
			852-2	852-3	852-4	852-5	852-6	853-1
			853-2	854-1	854-2	854-3	854-4	855-1
			855-2	855-3	856-1	856-2	857-1	858
			859	860-1	860-2	861-1	863-1	864-1
			865	866-1	867	868-1	869-1	870-1
			871-1	872-1	873-1	873-2	874	875-1
			875-2	876-1	876-2	877-1	877-2	877-3
			877-5	878-1	878-2	878-3	879-1	879-2
			880	881	882	883-1	883-2	883-3
			884-1	884-2	885	886	887	888
			889	890-1	890-2	891	892	893
			894-1	894-2	895-1	895-2	895-3	896-1
			896-2	897-1	897-2	898-1	898-2	899
			900-1	900-2	901-1	901-2	901-3	901-4
			902-1	903	904	905	906-1	906-2
			906-3	906-4	907-1	907-2	907-3	907-4
			908	909-1	909-2	910-1	911-1	911-2
			912-1	912-2	913-1	913-2	913-3	914-1
			914-2	914-3	915	916	917	918
			919-1	919-2	919-3	919-4	920-1	920-2
			920-3	920-4	920-5	920-6	920-7	921-1
			921-2	922	922-1	923-1	923-2	923-3
			923-4	923-5	924-1	924-2	924-3	924-4
			924-5	924-6	924-7	924-8	925-1	925-2
			926-1	926-2	927-1	927-2	927-3	927-4
			928-1	928-2	928-3	929-1	929-2	930-1
			930-2	931-1	931-2	942-1	942-2	942-5
			943-1	943-2	944-1	944-2	944-3	944-4
			945	946-1	946-2	947-1	947-2	947-3

地 区 区域名	区域の範囲		農用地区域に含める地番 (現況森林・原野等)						
	大 字	小 字							
東部	熱田	加井真川原	947-4	948-1	948-2	949-1	949-2	950-1	
			950-2	950-3	950-4	950-5	951-1	951-2	
			952-1	952-2	953-1	953-2	953-3	954	
			955	956-1	956-2	966	967-1	967-2	
			967-3	968-1	968-2	969-1	969-2	969-3	
			970	971-1	971-2	971-3	972-1	972-2	
			973-1	973-2	973-3	974-2	977	981	
		仲里原	1158	1159-1	1159-2	1160-1	1160-2	1161	
			1162	1163	1164	1165	1166	1167	
			1168	1169	1170	1171	1171-1	1172	
			1173-1	1173-2	1174	1176-1	1176-2	1178	
			1179	1180-1	1180-2	1181	1182	1183	
			1184	1185	1186-1	1186-2	1186-3	1187-1	
			1187-2	1188	1189	1190	1192	1193	
			1195-1	1195-2	1196	1197	1198	1199	
			1200	1201	1203-1	1203-2	1203-3	1204	
			1205-1	1205-2	1205-3	1205-4	1206-1	1207	
			1208-1	1209	1210	1211	1212	1213	
			1214	1215	1216	1217	1218	1219	
			1220	1222	1223	1224-1	1224-2	1225-1	
			1225-2	1226	1227	1228	1229	1230	
			1231-1	1231-2	1232-1	1233	1234	1235-1	
			1236	1237-1	1238-1	1239-1	1241-1	1242-1	
			1243-1	1244	1245-1	1246	1247	1248	
			1249	1250	1251	1252	1253-1	1254-1	
			1255-1	1255-3	1255-4	1256-1	1257	1258-1	
			1259-1	1260-1	1261-1	1262	1263-1	1263-2	
			1264	1265	1266	1267-1	1268-1	1269-1	
			1269-2	1269-3	1270	1271-1	1271-2	1272	
			1273-1	1273-2	1274-1	1274-2	1274-3	1275-1	
			1275-2	1275-3	1276-1	1276-2	1276-3	1277	
			1278	1279	1280-1	1281-1	1282	1283-1	
			1284	1285	1286	1287-1	1288	1289	
			1290-1	1291-1	1292	1293	1294	1295-1	
			1296	1297-1	1298	1299-1	1300	1300-1	
			1300-2	1300-3	1300-4	1301-1	1301-2	1302-1	
			1302-2	1303-1	1303-2	1303-3	1303-4		
		高辻原	1304-1	1304-2	1304-3	1305-1	1305-2	1306	
			1307	1308-1	1308-3	1309-1	1310-1	1311-1	

地 区 区域名	区域の範囲		農用地区域に含める地番 （ 現況森林・原野等）					
	大 字	小 字						
東部	熱田	高辻原	1311-2	1312	1313	1314-1	1314-2	1314-4
			1320	1321	1322	1323	1324	1325
			1326	1327	1328	1329-1	1329-2	1330-1
			1330-2	1330-3	1331	1332	1333	1334-1
			1335	1336	1337-1	1337-2	1338	1339
			1340	1378-1				
		前原	1582-1	1583	1584	1585	1586	1587
			1594	1595	1596-1	1597	1598-1	1599
			1600	1600-1	1601	1602	1603	1604-1
			1604-2	1605-1	1605-5	1608	1609	1610
			1611	1612	1613	1614	1615	1616
			1617	1618	1619	1620	1621	1622
			1623	1624	1625	1626	1627	1628
			1629	1630	1631	1632	1633	1634
			1635	1636	1637	1638	1639	1640
			1641	1642	1643	1644	1645	1646
			1647	1648	1649	1650	1651	1652
			1653	1654	1655	1656	1657-1	1657-2
			1658	1659	1660	1661	1662	1663
			1664	1665	1666	1667	1668	1669-1
			1669-2	1670	1671	1672	1673	1674
			1675	1676-1	1676-2	1677-1	1677-2	1678
			1679	1680	1681	1682	1683	1684
			1685	1686	1687	1688	1689	1690
			1691	1692	1693	1694	1695	1696
			1697	1698	1699	1700	1701	1702
			1703	1704	1705	1706	1707	1708
			1709	1710	1711	1712	1713	1714
			1715	1716	1717	1718	1719	1720
			1721	1722	1723	1724	1725	1726
			1727	1728				
		真志礼原	1795	1796	1797	1798	1799-1	1800
			1801-2	1802	1803	1804	1832	1833
			1834	1835	1836	1837	1838	1839
			1840-1	1840-2	1841	1841-1	1842-1	1843
			1844	1845	1846	1847	1848	1849
			1850-1	1850-2	1851	1852	1853	1854
			1855	1856	1857	1858	1859	1860
			1861	1862	1863	1864	1865	1866

地 区 区域名	区域の範囲		農用地区域に含める地番 （ 現況森林・原野等）						
	大 字	小 字							
東 部	熱 田	真志礼原	1867-1	1867-2	1869	1870-1	1870-2	1871	
			1872	1873-1	1874-1	1875	1876-1	1876-2	
			1877	1878	1879	1880	1881	1882	
			1883	1884	1885	1886	1886-1	1887	
			1888	1889	1890	1919	1924	1925	
			1926	1927	1928	1929	1930-1	1931	
			1932	1933	1934	1935-1	1936-1	1937-1	
			1940						
		浜 原	1994の一部(別図3)		1995-1	1996の一部(別図3)			
			1996-1の一部(別図3)		1996-3の一部(別図3)		1997の一部(別図3)		
			1998	1999の一部(別図3)		2000	2001	2001-2	
			2001-3	2002-2	2004-1の一部(別図3)		2005-1	2007	
			2008	2009	2010の一部(別図3)		2012の一部(別図3)		
			2013	2014-1	2014-2	2014-3	2014-4	2014-5	
			2014-7の一部(別図2)		2014-8の一部(別図2)		2014-9の一部(別図2)		
			2014-10の一部(別図2)		2015-1	2015-2の一部(別図2)			
			2015-3の一部(別図2)		2015-4の一部(別図2)		2015-5の一部(別図2)		
			2016-1	2016-2	2029-1	2029-2	2030-1	2031-7	
			2032-1	2033	2033-2	2033-3	2033-7	2033-8	
			2034-1	2034-3	2034-4	2035-1	2035-2	2035-3	
			2036	2037	2038-3	2039-2	2039-3	2039-4	
			2040-3	2040-5	2041-2	2042-1	2042-2	2042-3	
			2042-4	2042-5	2043-1	2043-2	2043-3	2045-2	
			2046-2	2046-3	2046-4	2047-2	2051	2052	
			2053-1	2053-2	2053-3	2054-1	2054-2	2054-3	
			2054-4	2054-5	2054-6	2055-1	2055-2	2055-3	
			2056	2056-1	2056-2	2056-3	2057	2057-1	
	2057-2	2057-3	2058-1	2058-2	2058-4	2058-5			
	2059-1	2060-3	2061の一部(別図4)		2062	2063			
	2064	2065	2066	2067	2068-1	2068-2			
	2068-3	2069-1	2069-2	2070-2	2070-18	2070-19			
	2070-20								
	和仁屋	浜田原	236	237	238	239	241	242	
			243	244	245	246	247	248	
			249	250	251	252	253	254	
			255	256	257	258	259	260	
			261-1						
		上 原	414-1	414-4	439-1	439-3	439-4	439-5	
			439-6	440-1	440-2	440-3	440-4	441-1	

地 区 区域名	区域の範囲		農用地区域に含める地番 （ 現況森林・原野等）					
	大 字	小 字						
東部	和仁屋	上原	441-3	441-4	442-1	443-1	443-2	443-3
			443-4	444-1	444-2	444-3	445-1	445-2
			445-3	445-4	446-1	447-1	448	449
			450-1	450-2	450-3	450-4	452-1	452-2
			452-3	452-4	452-5	452-6	452-7	452-8
			455-1	455-2	455-3	455-4	455-5	456-1
			456-2	456-3	456-4	457	458-1	459
			460	461	462	463	464	465
			466	467	468	469	470	471
			472	473	474	475	476	477
			478	479	480	481	482	
	渡口	後原	106	107	108	109	110	111
			112	114	115	118	119	120
			122	123	127	128	129	130
			131	156	157	158	161	162
			167	168	172	174	175	184
			185	186	218	219	220	221
			222	223	224	225	228	230
			231	241	248	249	259	260
			260-2	261	262-1			
		西門原	284-3	289-1	290-1	291-1	292-1	292-2
			293-1	293-2	294-1	295-1	296-1	297-1
			297-3					
		下原	410	411	412	413	414	415
			416	417	418-2	419	420	421
			422-1	422-2	422-3	422-4	422-5	422-6
			422-7	428	429-1	429-2	429-3	429-4
			430-1	430-3	431	432	433	434
			435	436	437	438	439	440
			441	442	443	444	445	446-1
			446-3	446-4	447-1	447-2	447-3	447-5
			447-6	447-7	448	449-1	449-3	449-4
			450-1	450-2	451-1	452	454-1	455
			455-1	455-2	455-3			
		前原	459	460	461	461-1	462	463
			464-1の一部(別図7)		464-2	464-3	464-4	465-1
			465-2	466	467-1	469-1	469-3	469-4
			469-5	469-6	469-7	469-8	469-9	469-10
			469-11	470-1	470-3			

地 区 区域名	区域の範囲		農用地区域に含める地番 (現況森林・原野等)					
	大 字	小 字						
東 部	渡口	伊部佐原	591-1	591-2	591-3	591-4	592-1	592-2
			593	594	595	596	597	598-1
			598-2	598-3	598-4	599-1	599-2	599-3
			600	600-1	600-2	600-3	601	628-1
			629	630	631	632		
		雛具原	731-2	731-3	731-4	732-1	732-2	732-3
			733-1	733-2	733-3	734	736-2	736-3
			743	744	745	746	747-1	748
			749	750	751	752	753	754
			759	760	767	768	769	771-1
			771-2	771-3	772-1	772-2	772-3	773
			774-1	774-2	776	778	779	779-2
			783の一部(別図8)		784	785	786	787
			788	789-1	789-2	789-3	792	806
			807	808	809	811-1	811-2	812-1
			812-2	813	814	817	819	837
			838-1	839-1	840	841	843	845
			846	847	848	849	850-1	851
			852	853	854	855	856	857
			858	859-1	861の一部(別図8)			
		前田原	1098	1099-1	1100-1	1101-1	1103-1	1104-1
			1105-1	1106	1107	1108	1109	1110
			1111	1117	1119	1120	1121	1122
			1123-1	1123-2	1123-3	1124	1213-3	1213-4
			1215-1	1216-1	1217-1	1218-1	1222-1	1224-1
			1226-1	1229	1271			
		平田原	1440-1	1441-1	1442	1443	1444	1445
			1446	1450-1	1451-1	1452-1	1453-1	
中 部	喜舎場	東前原	321-2	321-3	321-4	324-1	324-2	324-3
			324-4	324-5	325	326	327-1	327-2
			328	329	330	331	338-1	338-2
			338-3	338-4	339-1	339-2	339-3	340
			341	342-1	342-2	343-1	343-2	344-2
			344-3	345	346-1	346-2		
	仲順	前原	321	322	323	324	325-1	328-1
			329-1	330-1	331	334-1	336-1	336-4
			347-1	347-6	348-1	349-1	350-1	351-1
			352-1					

地 区 区域名	区域の範囲		農用地区域に含める地番 (現況森林・原野等)					
	大 字	小 字						
南部	安谷屋	前原	315	316-1	318	318-2	319	320
			321	322	323	323-1	324	325
			326	327	328	329	330	331
			332	333	334-1	335	336	337
			339-1	340-1	341-1	342-1	342-2	343-1
			344-1	345の一部(別図5)		346	347	348
			349	350	351	351-2	352-1	352-2
			353-1	354-1	355	356	357	358-1
			359	360	361の一部(別図5)		362の一部(別図5)	
			363-1の一部(別図5)		364-1	364-2	364-3	365-1
			366-1	370-1	371-1	372-1	373-1	376-1
			377-1					
		赤畠原	487-1	488-1	489-1	490	491	492
			493-1	494	495	496	497-1	498-1
			499-1	499-2	500	502-1	503-1	504
			505-1	506	507	508-1	510-1	511-1
			512-1	513-1	531-1	533-1		
		上原	636	647	648	649	650	651
			652	653	655	656	657	658
			659	661	662	664	665	672
			686-1	686-2	689-1の一部(別図6)		689-2	
		久間良原	767-1	768-1	768-2	769	770	771-1
			772-1	773	774	775	776	777
			778-1	779-1	780-1	781	782-1	783
			784	785	786	787	788	789
			790	791	792	793	794	795
			796-1	797-1	798	799	800	801
			802	803	804	805-1	805-2	842
			843	844-1	844-2	844-3	844-4	844-5
			845-1	846-1	848-1	849-1	864-1	865
			866	867-1	871-1	871-5	872	872-3
			873-1	873-4	873-5	874-1	874-2	874-3
			874-4	875	876	877	878-1	882-1
			883	884	885	886	887	888
			889	890	895	896	897	898
			899	900	901	903	904	905
			906	907	909-1	910-1		

地 区 区域名	区域の範囲		農用地区域に含める地番 (現況森林・原野等)					
	大 字	小 字						
南部	安谷屋	樋川原	1075-1	1075-2	1078-1	1079-1	1080	1081-1
			1085-1	1085-2	1086	1088-1	1088-3	1089-1
			1089-3	1089-4	1089-5	1090	1091	1092-1
			1093-2	1094-1	1095-1	1095-2	1096-1	1096-2
			1097-1	1097-2	1097-3	1099	1100	1101-2
			1102-2	1111	1170	1171	1172-1	1173
			1174					
		鎌下原	1182-1	1182-3	1183-1	1183-2	1183-3	1185
			1186	1187-2	1188	1189-1	1189-3	1189-4
			1191	1192	1193	1194	1196	1197
			1199	1200-1	1200-2	1200-3	1201	1202
			1203	1204	1205-2	1205-3	1206	1207
			1208-2	1209	1210	1211	1214-1	1215-1
			1215-2	1216	1217-1	1218	1219	1220
			1221	1222	1223	1224	1225	1226
			1227	1228-1	1228-2	1229	1230	1231
			1232	1233-1				
		東後原	1293-2	1294-1	1294-2	1295	1296	1297
			1317-1	1318-1	1323-11	1327-1	1327-5	1328
			1329-1	1330	1331	1332	1333	1334
			1335	1336	1337	1338-1	1338-2	
		西後原	1362-1	1363	1365	1366	1367	1367-1
			1367-2	1367-3	1367-4	1368	1369	1370
			1371	1374	1375-1	1375-2	1376-1	1376-2
			1377-1	1377-2	1378-1	1378-2	1378-3	1378-4
			1379	1380	1381-1	1382	1383	1384-2
			1385-1	1385-2	1386	1387	1387-1	1388
			1389	1390-1	1390-2	1391	1392-1	1392-2
			1393	1394	1395	1396	1397	1398
			1399	1400	1401-1	1401-2	1401-3	1402
			1405	1406	1407	1408	1409-2	
	荻道	西原	161	162-1	162-2	163-1	164-1	165
			166-1	167-1	168-1	169-1	169-3	
		前原	197-1	201-1	201-2	201-3	206	207
			209-1	209-2	209-3	210	211-1	211-2
			211-3	212-1	212-2	212-3	213-1	213-2
			214-1	214-2	214-3	215-1	215-2	216
			217-1	217-2	218-1	218-2	219-1	219-2
			220-1	220-2	221-1	221-2	221-3	222-1

地 区 区域名	区域の範囲		農用地区域に含める地番 (現況森林・原野等)					
	大 字	小 字						
南部	荻道	前原	222-2	223-1	223-2	223-3	224-1	225
			226-1	226-2	230	231-1	231-2	231-3
			232-1	232-2	233	233-1	240-1	241
			242	243	244	245-1	245-2	245-3
			246	247-1	247-2	247-3	247-4	248
			249-1	249-2	249-3	250-1	250-2	251-1
			251-2	251-3	252-1	252-2	253	254
			260-2	260-3	260-4	261-1	261-2	265-1
			265-2	266-1	266-2			
		亀甲原	267-2	274-1	287-1	287-2	287-3	288
			294-1	295-1	296-1	296-3	297	298-1
			298-2	299-1	299-2	300	301	302-1
			302-2	303	304-1	304-2	305-1	305-2
			306	307	308	308-1	309	310-1
			313-1	314	314-1	315		
		平田原	320-1	320-2	321	322	323-1	323-2
			323-3	323-4	324-1	324-2	325	326-1
			326-2	327-1	327-2	328	329	330-1
			331-3	332-3	333-1	333-3	333-5	346-1
			346-2	347	348-1	348-2	349-1	349-2
			349-3	350-1	350-2	351-1	351-2	351-3
			353	356-3	357-2			
		樋川原	472	473	475-1	475-2	475-3	476
			477	478	479	480	481	482
			483	484	485	486	487	488-1
			488-2	489	490	491	492	530-1
			534-1	540-2	542			
		底田原	559-1	559-2	560-1	560-2	561	562-1
			562-2	563-1	566	568-1	573-1	573-2
			574-1	574-2	575-1	575-2	576	577-1
			577-2	578	579	582-1	582-2	582-3
			582-4	582-5	586	587	588	589
			590-1	590-2	590-3	591-1	591-2	592
			593-1	593-2	594-1	594-2	595	596-1
			596-2	613-1	613-2	614	615	616
			617	618-1	618-2	619	621-1	621-2
			622					

地 区 区域名	区域の範囲		農用地区域に含める地番 （ 現況森林・原野等）					
	大 字	小 字						
南部	大城	門田原	1-1	1-2	2-1	2-2	3	4
			4-1	5-1				
		登原	237-1	238-1	238-2	239-1	239-2	240
			240-1	241-1	241-2	242-1	242-2	242-3
			243	244	245	246	247	248-1
			248-2	249-1	249-2	250-1	250-2	250-8
			251-2	264-1	264-4	265	270-1	270-4
北部	比嘉	東原	271-2	271-4				
			156	157	158	159	160	239
			240	241	242-1	242-2	242-3	242-4
			242-5	242-6	243	244	246	249
			250	253	254	255	256	331-1
			331-2	332-1	332-2	332-3	332-4	333-1
			333-3	333-4	333-5			

(2)用途区分

下表の「地区・区域番号」に係る農用地区域内の農業上の用途は、「用途区分」欄に掲げるとおりとする。

地区 区域番号	区 分	用 途 区 分		
		大 字	小 字	地 番
東部	農業施設	渡口	雛具原	807
	用 地			
	農 地	上記以外の土地		
中部	農業施設			なし
	用 地			
	農 地	上記以外の土地		
南部	農業施設	安谷屋	赤畠原	505-1
	用 地	萩道	底田原	594-1
	農 地	上記以外の土地		
北部	農業施設			なし
	用 地			
	農 地	上記以外の土地		

参 考 別 図

一部 農 用 地 区 域 図

同一地番において、一部を農用地区域外として指定した土地

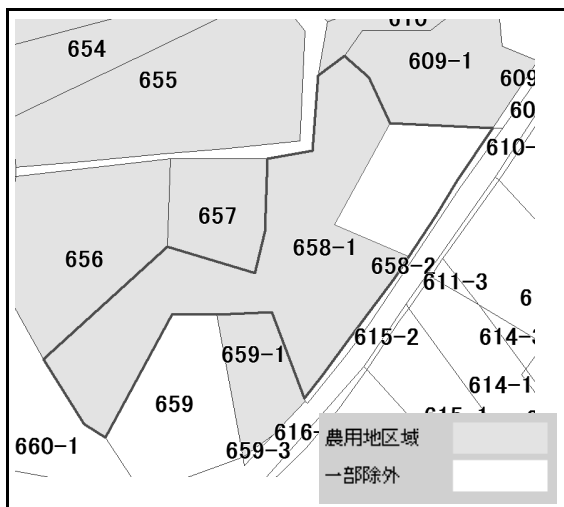
【一部農用地区域 一覧表及び別図】

一部農用地区域

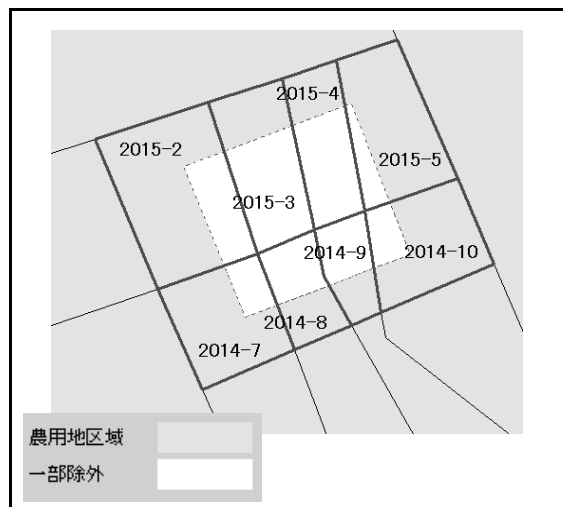
(面積: m²)

	別図 番号	地区	大字	小字	地番	登記 面積	農用地 区域面積	農用地区域以外の面積	
								白地区域	農振地域外
1	1	東部	熱田	上原	658-1	1,592	1,281	311	0
2	3	東部	熱田	浜原	1994	3,697	907	2,790	0
3	3	東部	熱田	浜原	1996	752	209	543	0
4	3	東部	熱田	浜原	1996-1	200	55	145	0
5	3	東部	熱田	浜原	1996-3	1,404	336	1,068	0
6	3	東部	熱田	浜原	1997	2,138	1,948	190	0
7	3	東部	熱田	浜原	1999	932	325	607	0
8	3	東部	熱田	浜原	2004-1	3,812	3,371	441	0
9	3	東部	熱田	浜原	2010	508	16	492	0
10	3	東部	熱田	浜原	2012	2,408	597	1,811	0
11	2	東部	熱田	浜原	2014-7	61	48	13	0
12	2	東部	熱田	浜原	2014-8	33	16	17	0
13	2	東部	熱田	浜原	2014-9	26	9	17	0
14	2	東部	熱田	浜原	2014-10	60	48	12	0
15	2	東部	熱田	浜原	2015-2	100	76	24	0
16	2	東部	熱田	浜原	2015-3	62	26	36	0
17	2	東部	熱田	浜原	2015-4	49	17	32	0
18	2	東部	熱田	浜原	2015-5	66	54	12	0
19	4	東部	熱田	浜原	2061	1,037	823.76	213.24	0
20	7	東部	渡口	前原	464-1	1,412	1,186	226.00	0
21	8	東部	渡口	雛具原	783	3,128	3,029	99.00	0
22	8	東部	渡口	雛具原	861	865	810	55.00	0
23	5	南部	安谷屋	前原	345	345	317	28.00	0
24	5	南部	安谷屋	前原	361	132	84	48.00	0
25	5	南部	安谷屋	前原	362	333	285	48.00	0
26	5	南部	安谷屋	前原	363-1	1,191	1,086	105.00	0
27	6	南部	安谷屋	上原	689-1	2,709	2,401	308.00	0

別図 1
熱田 上原
658-1

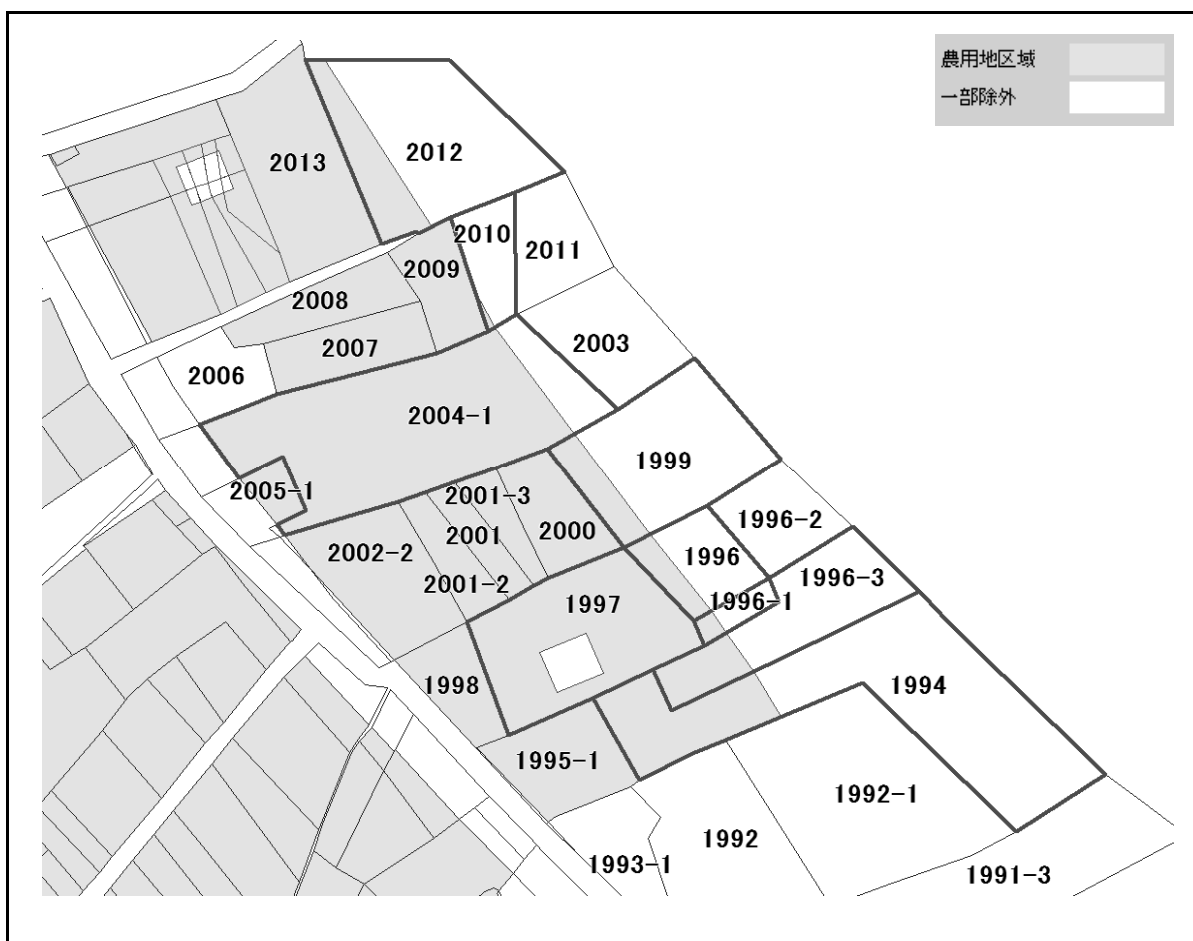


別図 2
熱田 浜原
2014-7,-8,-9,-10 2015-2,-3,-4,-5



別図 3
熱田 浜原

1994 1996 1996-1 1996-3 1997 1999 2004-1 2010 2012



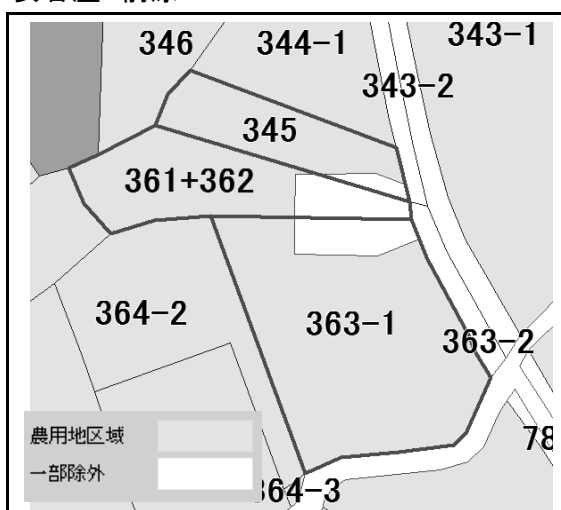
別図 4

熱田 浜原 2061



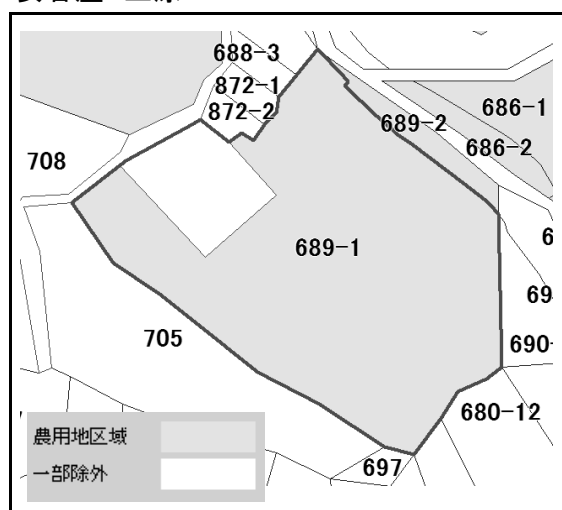
別図 5

安谷屋 前原 345 361 362 363-1



別図 6

安谷屋 上原 689-1



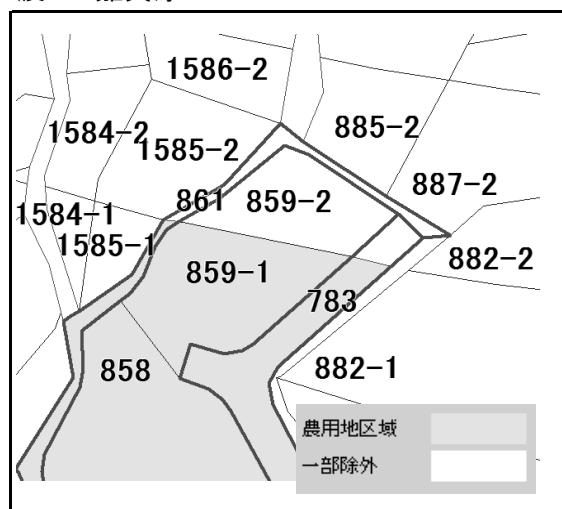
別図 7

渡口 前原 464-1



別図 8

渡口 雛具原 783 861



北 中 城
農業振興地域整備計画
に関する基礎調査資料

令和 6 年 5 月
沖縄県中頭郡北中城村

目 次

第 1	地域の概況.....	1
1	人口及び産業経済の動向及び見通し.....	1
2	地域の開発構想	2
3	農業関係法令に基づく各種農業振興計画の概要	3
4	農業関係以外の法令に基づく地域等の指定状況	3
第 2	農業生産の現況及び見通し	4
1	重点作目の概要	4
2	農業生産の動向及び見通し	5
第 3	土地利用の現況及び見通し	6
1	農業振興地域の土地利用の動向及び見通し.....	6
2	森林の混牧林地としての利用可能性.....	6
第 4	農業生産基盤の現況及び見通し	7
1	農地の整備率.....	7
2	農業生産基盤の整備開発に係る各種事業の実施状況	7
	農業生産基盤整備状況図 別添.....	7
第 5	農用地等の保全及び利用の現況及び見通し	8
1	経営体数の動向及び見通し	8
2	耕地の拡張及びかい廃	8
3	農用地等の保全整備に係る各種事業の実施状況	9
	農用地等保全整備状況図 別添.....	9
4	農用地利用集積の現況及び見通し	9
5	権利移動の動向－農用地等の流動化諸方策別	10
6	農作業の受委託及び共同化，地力の維持増進，耕地利用率，裏作導入等の動向	10
7	農用地に関する規模拡大等希望戸数及び面積.....	10
第 6	農業近代化施設整備の現況及び見通し	11
	農業近代化施設整備状況図 別添	11
第 7	農業就業者育成・確保の現況及び見通し.....	12
1	新規就農者の動向及び見通し	12
2	農業就業者育成・確保施設の状況	12
	農業就業者育成・確保施設整備状況図 別添.....	12
第 8	就業機会の現況及び見通し	13
1	農業従事者の就業の動向及び見通し－専兼業等別.....	13
2	農業従事者の就業の現況－他産業別.....	13
3	農村産業法等に基づく開発計画の概要	14

4	農業従事者に対する就業相談活動の現況	14
5	企業誘致及び企業誘致活動の現況	14
第9	農村生活環境の現況及び見通し	15
1	農村生活環境整備事業等の実施状況	15
	農村生活環境整備状況図 別添	15
2	農村生活環境整備の問題点	15
第10	森林の整備その他林業の振興との関連に関する現況及び見通し	17
1	林業の概況	17
2	農業振興と林業振興の関連に関する現状と問題点	17
3	林業の振興に関する諸計画の概要	17
第11	地域の諸問題の解決を図るための各種の協定、申合せ等の実施状況	18
1	協定制度の実施状況	18
2	交換分合	18
第12	農業及び農村の振興及び整備のための推進体制等	19
1	推進体制図	19
2	財政状況	20
3	その他参考となる事項	20

第1 地域の概況

1 人口及び産業経済の動向及び見通し

(1) 総人口、世帯数及び産業別就業人口の動向及び見通し

単位：人、世帯、%

	総人口		総世帯数		産業別就業人口				
		うち農 家人口		うち 農家	総就業 人口	第 1 次		第 2 次	第 3 次
							うち 農業		
2010 (H22) 年	15, 951 (100)	154 (1. 0)	5, 220 (100)	174 (3. 3)	6, 244 (100)	114 (1. 8)	114 (1. 8)	978 (15. 7)	4, 706 (75. 4)
2015 (H27) 年	16, 148 (100)	83 (0. 5)	5, 541 (100)	119 (2. 1)	6, 249 (100)	100 (1. 6)	90 (1. 4)	950 (15. 2)	4, 740 (75. 9)
2020 (R2) 年(現況)	17, 969 (100)	53 (0. 3)	6, 558 (100)	73 (1. 1)	8, 200 (100)	92 (1. 1)	80 (1. 0)	1, 281 (15. 6)	6, 827 (83. 3)
2025 (R7) 年(見通し)	18, 000 (100)	46 (0. 3)	7, 400 (100)	52 (0. 7)	9, 484 (100)	83 (0. 9)	68 (0. 7)	1, 479 (15. 6)	7, 922 (83. 5)

(注) 1 市町村行政区域に関する数字である。

2 ()内は構成比である。

3 資料：農業関連は「農林業センサス」、それ以外は「国勢調査」による。総人口見通しは、「北中城村第四次総合戦略(後期基本計画)」(2020 (R2)) による R6 年度目標値とした。その他見通しは過去増減率で算定した。

(2) 産業別生産額の動向及び見通し

単位：百万円、%

	産業別生産額				
	総生産額	第1次	うち農業	第2次	第3次
2010 (H22) 年	24,947 (100)	61 (0.2)	58 (0.2)	2,059 (8.3)	22,827 (91.5)
2015 (H27) 年	33,175 (100)	104 (0.4)	28 (0.1)	4,059 (12.2)	29,012 (87.4)
2020 (R2) 年 (現況)	40,119 (100)	143 (0.3)	44 (0.1)	4,040 (10.1)	35,936 (89.6)
2025 (R7) 年 (見通し)	48,515 (100)	145 (0.3)	48 (0.1)	4,900 (10.1)	43,470 (89.6)

(注) 1 ()は構成比である。資料：市町村民所得推計報告書(市町村内総生産額)

2 総生産額は、税控除等を含むため各産業別合計額と一致しない。

3 見通しについては、総生産額は 2015-2020 の増加率、各産業別生産額は 2020 の各比率と同程度で推定。

2 地域の開発構想

(1) 農業の振興

本村の農業は、サトウキビを主とし、インゲンやマンゴー、パッションフルーツ等、亜熱帯の気候特性を活かした農作物が生産されているが、起伏に富んだ地形でまとまった農地の確保が難しく、水資源も充分ではない。また、近年は農業就業者の高齢化が急速に進行し担い手不足が深刻化しており、農業後継者に継承されない、または担い手に集積されない遊休化した農地が多くみられる。

今後の農業のあり方としては、農業生産法人や担い手の育成・確保に努め、村農地バンクを活用した遊休地解消により、農地流動化による経営規模の拡大を展開していくことが求められている。また、6次産業化に向け取り組みを図るなど、多様な経営のあり方も求められている。さらには、有用微生物群等を活用した多様な作目の生産を促進しつつ、本村の環境特性に応じた産地形成への取り組みが重要になる。

(2) 水産業の振興

本村の水産業は、中城港湾熱田地区を生産活動の拠点とし、本村名産品として定着しつつあるアーサ（ヒトエグサ）の養殖を主体し、その他近海魚等の水揚げがある。

今後は、沖縄県や漁業協同組合との連携を図り漁業生産力の向上及び漁業関連施設等の有効利用や適切な管理体制の強化が求められている。また、水産業は地域資源を活用した体験型の観光・交流を進めていくうえでも重要な分野であり、それを担う人材の発掘・育成などの促進が必要となっている。

(3) 観光及び商工業の振興

返還軍用地の跡地利用が進むライカム地区では、中部徳洲会病院の開院や大型商業施設が開業するなど、医療・福祉機能、商業施設が集積し、雇用の創出が期待されている。

一方、その他の地域では商工業の集積はみられず、商・工業系の事業所は、主に幹線道路沿道に立地し、その大半が小規模な事業所となっている。これら小規模な事業所に対しては、商工会との連携による経営安定化に向けた総合的な支援が求められている。一例として、就労を希望する村民や求人先の企業等に相互に雇用情報を提供し、マッチングを図るなどがあり、新たな雇用創出による失業者や人手不足解消への対策が求められる。また、前述のライカム地区などにおいて、健康関連産業の振興などが求められている。

(4) 交通運輸基盤の整備

本村は、中南部の中核都市を結ぶ位置にあり、沖縄自動車道の北中城インターチェンジと喜舎場スマートインターチェンジが立地し、国道 330 号、329 号が南北に走るなど、本島中南部圏の交通の要衝となっている。また、村域のほぼ中央で東西に結ぶ県道宜野湾北中城線（県道 81 号線）のほか、県道 22 号線、県道 146 号線などが道路網の骨格を形成している。

一方、交通の利便の良さから、生活道路への通過交通の進入もみられ、県道宜野湾北中城線（県道 81 号線）拡幅整備や、中城公園アクセス道路など、交通量に対応した幹線道路などの整備促進が求められている。

3 農業関係法令に基づく各種農業振興計画の概要

計画等名	地域指定・計画策 定等年度	指定地域等の範囲	内 容
農業振興地域 整備計画	(指定)昭和 50 年度 (計画)昭和 52 年度 (計画)平成 24 年度 (計画)平成 30 年度	市街化区域, 軍用地 等を除いた地域	農用地利用計画、各整備開発方針や 計画等
農業経営基盤の強 化の促進に関する 基本構想	(策定)平成 7 年度 (改正)平成 13 年度 (改正)平成 14 年度 (改正)平成 19 年度 (改正)平成 22 年度 (改正)平成 26 年度 (計画)令和 6 年度	村全域	農業経営基盤の強化の促進、効率的 かつ安定的な農業経営の指標、農地 利用集積円滑化事業等、新たに農業 経営を営もうとする青年等が目標と すべき農業経営の指標

4 農業関係以外の法令に基づく地域等の指定状況

地域等の名称	指定等年月日	根拠法令
那覇広域都市計画区域 (市街化区域及び市街化調整区域)	昭和 47 年	都市計画法
沖縄中南部地域森林計画	昭和 47 年	
地すべり防止区域	昭和 49・60 年 平成 7 年	地すべり防止法
埋蔵文化財包蔵地域	昭和 47 年	文化財保護法
海岸保全区域	昭和 61 年	海岸法
港湾区域	昭和 49 年	港湾法
港湾隣接地域	昭和 61 年	港湾法

第2 農業生産の現況及び見通し

1 重点作目の概要

本村では、耕種ではさとうきびを中心に野菜類や果樹・花き類、畜種では採卵鶏経営が行われている。今後もこれらを中心に需要動向に即した作目の生産拡大や品質向上を図るための諸施策を講じ、効率的で収益性の高い農業経営の推進に努める。

① さとうきび

さとうきびは基幹作目として位置づけられ振興されてきたが、農業就業者の高齢化による離農等により生産量は減少している。

今後とも、機械化一貫作業体系の確立や高性能農業機械の導入とともに、生産法人及び農作業受委託組織の育成強化に努める。

② 野 菜

野菜は都市近郊型の中核となる作物であり、今後とも担い手農家への農用地集積を図るとともに、各種近代化施設の導入や農業用水の確保、生産組織の育成強化に努める。

③ 果 樹

パッションフルーツやマンゴーは村の推奨品目に指定されている。今後は耐候性ハウス施設導入を促進し生産量向上に努める。

④ 花 き

本村花き類の振興にあたっては、天候に左右されない各種近代化施設の整備、市場の需要に応じた品目の選定、高品質種苗の導入、流通体制の整備に努める。

⑤ 採卵鶏

本村の採卵鶏経営は小規模であるが、飼養管理技術の向上により安全で安定的な鶏卵の生産を推進するとともに、衛生管理や環境管理の強化、経営規模の拡大等により収益性及び効率性の向上に努める。

2 農業生産の動向及び見通し

単位：ha, 頭, 羽, 千本, t

作 目	2010 (H22) 年		2014 (H26) 年		2019 (R1) 年 (現況)		2025 (R7) 年 (見通し)	
	作付面積 飼養頭羽数	生産量	作付面積 飼養頭羽数	生産量	作付面積 飼養頭羽数	生産量	作付面積 飼養頭羽数	生産量
野菜	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
野菜類	3	63	3	104	11	150	3	110
(だいこん)	0	0	0	1	0	2	0	1
(キャベツ)	1	27	1	24	1	20	1	12
(ホウレンソウ)	0	1	0	1	0	2	0	1
(トマト)	0	4	0	18	0	17	0	17
(サインゲン)	2	21	2	18	1	16	0.3	3
(レタス)	0	3	0	5	5	4	0	0
(にがうり)	0	3	0	2	1	1	0	0
(へちま)	0	0	0	10	1	1	0	1
(馬鈴薯)	0	4	0	2	2	2	1	1
果樹	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
(バナナ)	0.2	0.4	0.0	—	0	0.3	0	0.1
(マンゴー)	0.8	3.9	0.3	2.5	0.3	1	0.4	1
(ドラゴンフルーツ)	0.7	5.3	0.1	1.8	0	0.1	0	0.1
(パッション)	—	—	0.3	2.0	0	0.1	0.1	1
花き	ha	千本	ha	千本	ha	千本	ha	千本
(きく)	1	222	0	0	0	0	—	—
(洋ラン類)	1	33	0	14	0.2	0	—	—
切り葉	1	262	2	165	1.5	70	1.1	50
その他切り花	0	1	0	4	0	0	0	0
工芸農作物	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
(さとうきび)	20	1,162	15	724	11(10)	501(381)	10	500
畜産物	頭・羽	t	頭・羽	t	頭・羽	t	頭・羽	t
肉牛	24	—	11	—	16	—	10	—
豚	40	—	64	—	—	—	—	—
鶏卵	1,324	—	2,449	—	1,251	—	1,200	—

(注) 1. 作物欄の()内は重点作物である。 2. 資料：農林水産統計年報

第3 土地利用の現況及び見通し

1 農業振興地域の土地利用の動向及び見通し

単位：ha, %

	総面積	農用地			混牧林地	農業用施設用地	小計	混牧林地以外の山林原野	住宅地	工場用地	その他
		農地	採草放牧地	計							
2011(H23)年	658 (100.0)	100 (15.2)	0 (0.0)	100 (15.2)	0 0.0	0 (0.0)	100 (15.2)	281 (42.7)	99 (12.8)	1 (0.2)	192 (29.2)
2017(H29)年	658 (100.0)	75 (11.4)	0 (0.0)	75 (11.4)	0 0.0	8 (1.2)	83 (12.6)	280 (42.6)	99 (15.0)	1 (0.2)	195 (29.6)
2020(R2)年 (現況)	658 (100.0)	81 (12.3)	0 (0.0)	81 (12.3)	0 0.0	8 (1.2)	89 (13.5)	280 (42.6)	99 (15.0)	1 (0.2)	189 (29.6)
2025(R7)年 (見通し)	658 (100.0)	76 (11.6)	0 (0.0)	76 (11.6)	0 0.0	8 (1.2)	84 (12.8)	280 (42.6)	104 (15.8)	1 (0.2)	189 (29.6)

(注) 1 ()内は構成比である。

2 資料：村業務資料（「農振地域内外の土地利用状況」）他

2 森林の混牧林地としての利用可能性

単位：ha

	現況混牧林地面積 (2021(R3)年)	左以外の森林の混牧林地としての利用可能性
市町村行政区域		
農業振興地域 (農用地区域(案))	該当なし	
その他		

(注)「市町村行政区域」及び「その他」には、市街化区域及び用途地域に含まれる混牧林地及び混牧林地としての利用可能地は含まない。

第4 農業生産基盤の現況及び見通し

1 農地の整備率

単位：％

	現況（R3）	見通し（R8）
田	—	—
畑	55	77
樹園地	—	—

（注） 「確保すべき農用地等の面積の目標の達成状況」より、農用地区域内の整備済み面積／農用地区域内の現況農用地面積

2 農業生産基盤の整備開発に係る各種事業の実施状況

事業種目	受益面積 (ha)	事業費 (千円)	主要工事の名称 及び事業量	事業主体	事業の着工 完了(予定) 年度	対図 番号
農業施設事業 (和仁屋地区)	14	21,061	排水路 957m	北中城村	S48	1
団体営農道整備事業 (熱田地区)	26	35,000	農道 1,300m	〃	S50～51	2
団体営かんがい排水 事業（仲順地区）	11	25,300	排水路 958m	〃	S50～51	3
農業構造改善事業 (底田地区)	7.1	79,455	区画整理 7.1ha 畑地かんがい 4.2ha	〃	S50～51	4
団体営かんがい排水 事業（渡口地区）	18.2	171,234	排水路 1,302m	〃	S50～51	5
土地改良総合整備事業 (土地総型)（渡口地区）	18.5	315,519	区画整理 18.5ha 幹線農道 1,085m	〃	S50～51	6
団体営農道整備事業 (底田地区)	11.0	19,706	農道 715m	〃	S50～51	7
団体営ため池等 整備事業（底田地区）	2.8	18,712	土留工 L=135m	〃	S50～51	8
土地改良総合整備事業 (土地総型)（安谷屋地区）	12.2	281,000	区画整理 12.2ha 幹線農道 787m	〃	S50～51	9
団体営農道整備事業 (軽)（北中地区）	—	—	農道舗装 6,461m	〃	H4	10
団体営農道整備事業 (北中城第6地区)	12.0	13,196	農道 535m	〃	H8	11
団体営ため池整備事業 (安谷屋地区)	2.1	48,649	法面崩壊防止工 213m	〃	H24～H25	12
団体営農業基盤整備 促進事業 (安谷屋第2地区)	11.8	605,000 (変更予定)	畑かん施設 1 式 貯水池 1 箇所 ファームポイント 1 基	〃	H30～R9	13

農業生産基盤整備状況図 別添

第5 農用地等の保全及び利用の現況及び見通し

1 経営体数の動向及び見通し

単位：経営体

	農業経営体数			経営耕地規模別内訳						
	総経営 体数	家族 経営体	組織 経営体	0.5ha 未満	0.5～ 1.0ha	1.0～ 3.0ha	3.0～ 5.0ha	5.0～ 10ha	10～ 20ha	20ha 以上
2010(H22)	44 (100)	—	—	29 (65.9)	11 (25.0)	4 (9.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
2015(H27)	26 (100)	—	—	17 (65.4)	6 (23.1)	3 (11.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
2020(R2) (現況)	22 (100)	18 (81.8)	4 (18.2)	11 (50.0)	5 (22.7)	6 (27.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
2025(R7) (見通し)	20 (100)	15 (75.0)	5 (25.0)	10 (50.0)	5 (25.0)	5 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

(注) 資料：農林業センサス, 市町村統計

2 耕地の拡張及びかい廃

単位：ha

	拡張	かい廃	かい廃の内訳					
			自然災害	人為 かい廃	非農林業 用途への 転用	農林道等 植林	荒廃 農地	その他
H27	0.3	0.6	—	0.6	0.6	—	—	—
H28～R2 (現況)	45.7	52.8	—	52.8	5.0	—	47.8	—
R3～7 (見通し)	0	2.0	—	2.0	—	—	2.0	—

(注) 資料：北中城村農業委員会 なお、見通しについては「国土利用計画」による。

3 農用地等の保全整備に係る各種事業の実施状況

事業種目	受益面積 (ha)	事業費 (千円)	主要工事の名称 及び事業量	事業 主体	事業の着工 完了年度	対図 番号
県営農地保全整備 事業（熱田地区）	22.6	489,665	水兼農道 1,404m 関連農道 871m 水路 3,927m 関連排水路 35m	北中城村	S58～H4	1
団体営農地保全整備 事業（荻道地区）	13.4	255,274	水兼農道 670m 関連農道 775m 水路 3,005m 関連排水路 170m	北中城村	S58～H1	2

農用地等保全整備状況図 別添

4 農用地利用集積の現況及び見通し

単位：ha, %, 人

		2020（R2）年 （現況）	20（R12）年 （見通し）
担い手の耕作面積計	①	7.1	8
自作地		3.3	3
借入地・特定作業受託地		3.8	4
借入地		3.8	4
特定作業受託地		—	—
耕地面積	②	85	60
担い手の農地利用集積率	③=①/②	0.08	0.1
認定農業者数		1	2

（注） 資料：農林水産課資料

5 権利移動の動向－農用地等の流動化諸方策別

単位：ha

	農地中間管理事業				農地移動適正化 あっせん事業				その他	
	売買		貸借		売買		貸借			
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
H30 年	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
R 元年	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
R2 年	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
計	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—

(注) 資料：農業委員会

6 農作業の受委託及び共同化，地力の維持増進，耕地利用率，裏作導入等の動向

	農作業の受委託	農作業の共同化	耕地利用率	裏作導入
	戸 ha	組織 戸	%	ha
2010 (H22)	— —	— —	—	—
2015 (H27)	— —	— —	—	—
2020 (R2) (現況)	— —	— —	—	—

7 農用地に関する規模拡大等希望戸数及び面積

単位：戸，ha

規模拡大の希望		規模縮小の希望	
戸 数	面 積	戸 数	面 積
6	2.4	100	5.8

(注) 農用地地権者アンケート（2021（R3）年実施）結果の実数合計

第6 農業近代化施設整備の現況及び見通し

事業種目		受益 面積 (ha)	受益 戸数 (戸)	事業費 (千円)	施設の概要		事業 主体	事業の着工 完了年度	対図 番号
					名 称	数・規模			
生産関係施設	農業近代化施設 整備事業 (渡口地区)	10.0	3	10,084	栽培 施設	ラン栽培 H鋼ハウス7棟 9,072 m ²	北中城村 オーキッド 生産組合	S62～63	1
流通加工関係施設	該当なし								

資料：北中城村農林水産課

農業近代化施設整備状況図 別添

第7 農業就業者育成・確保の現況及び見通し

1 新規就農者の動向及び見通し

単位：人

	新規 就農者	新規学卒 就農者 (A)	新規青年 就農者 (A+B)			
			離職 就農者	39 歳以下 (B)	40 歳以上	
H23～27	19	1	18	9	9	10
H28～32 (現況)	9	0	9	4	5	4
R3～7 (見通し)	8	0	8	4	4	4

(注) 資料：北中城村農林水産課

2 農業就業者育成・確保施設の状況

	施設 の名称	施設 の内容	施設 の規模	施設の 対象者	事業 主体	設置年	対図 番号
農作業体験施設							
就農支援施設							
農業情報通信施設							
福祉施設及び医療施設							
住宅							
その他							

農業就業者育成・確保施設整備状況図 別添

第8 就業機会の現況及び見通し

1 農業従事者の就業の動向及び見通し－専兼業等別

単位：戸

	総計	販売農家				自給的農家
		合計	主業	準主業	副業	
2010 (H22) 年	174	44	18	9	17	130
2015 (H27) 年	119	26	9	4	13	93
2020 (R2) 年 (現況)	73	16	5	1	10	57
2030 (R12) 年 (見通し)	70	15	4	1	10	55

(注) 資料：農林業センサス

2 農業従事者の就業の現況－他産業別

単位：人

区 分		従 業 地								
I	II	市町村内			市町村外			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
恒常的勤務		10	3	13	22	7	29	32	10	42
自 営 兼 業		6	2	8	13	4	17	19	6	25
出稼ぎ		0	0	0	0	0	0	0	0	0
日雇・臨時雇		2	0	2	5	2	7	7	2	9
総 計		18	5	23	40	13	53	58	18	76

(注1) 資料：アンケート調査(2021 (R3) 年実施)による回答結果(村内在住者)

※回答数に差異がある為、合計就業人数を基に比率により調整。

3 農村産業法等に基づく開発計画の概要

〈計画の概要〉

	地区名	企業数	施設用地 面積 (㎡)	出荷額又は 売上額 (百万円)	雇用従業員 数(A)	うち農業 従事者(B)	B/A (%)	主な 業種

該当なし

4 農業従事者に対する就業相談活動の現況

時期	推進主体	対象者及び参加人員	内 容
該当なし			

5 企業誘致及び企業誘致活動の現況

時期	推進者	対象企業名	内 容
該当なし			

第9 農村生活環境の現況及び見通し

1 農村生活環境整備事業等の実施状況

事業種目	受益 地区	受益戸数 (人口)	事業費 千円	主要工事又は 主要施設名	事業主体	事業の着工 完了年度	対図 番号
農村環境施設 整備事業	荻道	94 (242)	39,480	集落センター 424 m ²	荻道 農村振興会	S56	1
農村環境施設 整備事業	荻道	110 (283)	10,460	農村広場 4,660 m ² (テニスコート ・ゲートボール場等)	北中城村	S59	2

農村生活環境整備状況図 別添

2 農村生活環境整備の問題点

(1) 安全性

本村は起伏に富んだ地形であり、台風や集中豪雨時には丘陵斜面地での地滑りや低湿地における浸水災害が発生している。地域防災無線だけではなく、情報伝達手段の多様化や災害時における情報収集・提供、迅速な救急・救助活動などの危機管理体制の拡充が重要となっている。

また、災害に強い安心したまちをつくるためには、防災拠点形成や避難場所の確保、防災公園の活用などの都市基盤整備もふまえ、国土強靱化地域計画や地域防災計画との連携による総合的な対策が求められている。

消防・救急については中城村と一部事務組合を結成し、消防・救急業務に対応しているが、救急出動については年々増加傾向にあり、災害なども想定し民間医療機関と連携した救急受け入れ態勢の強化が必要となっている。

(2) 保健性

本村のゴミ処理は、2000（H12）年10月から5種分別収集を実施している。2003（H15）年に新たな焼却施設が稼働したが、継続してゴミの減量及びリサイクルを推進することが重要である。また、農地を中心に増加傾向にある不法投棄への対策を強化することが求められる。

水道は普及率100%で、ライカム地区においても上水道の整備が既に行われており、安定供給と水質保持が図られている。今後は、老朽化している既存施設の適正更新など、水道施設の維持管理や改良に努める。また、下水道については、2016（H28）年度において水洗化率が人口普及率を上回ったものの、更なる接続率向上や環境負荷低減に向けた啓発などが求められている。

その他、近年問題となっていた墓地及び斎場については、公営墓地は2021（R3）年度に整備完了し、今後は適正運用と斎場整備に向けた検討が求められている。

(3) 利便性

本村は、中南部の中核都市を結ぶ位置にあり、沖縄自動車道の北中城インターチェンジと喜舎場スマートインターチェンジが立地し、国道 330 号、国道 329 号が南北に走るなど、本島中南部の交通の要衝となっている。一方、交通の利便性の良さから交通渋滞の慢性化や、生活道路への通過交通の進入も見られることから、適正な交通ネットワークの形成が求められている。

また、沖縄県による鉄軌道を含む新たな公共交通システムや、村域内交通として実証実験中のコミュニティバスなど新たな施策に対する検討も求められている。

(4) 快適性

本村では、住民の交流の場である「あやかりの杜」「中央公民館」「各自治公民館」「しおさい公苑」等を拠点に、子ども会、青年会、婦人会、老人会、各種サークル等による生涯学習活動、出前講座、各種学級、スポーツ・レクリエーション活動、各種大会等が行われている。2018（H30）年度には「村民体育館」が完成し、レクリエーション、サークル活動、イベント、各種展示会などスポーツイベント以外でも利用できるため、今後、あらゆる分野での施設の有効活用が期待されている。

(5) 文化性

本村の指定文化財は、国指定の「中城城跡」「中村家住宅」「荻堂貝塚」をはじめ、県指定 3 件、村指定 15 件があり、その他にも各集落には御嶽・拝所や湧泉、伝統芸能などが 200 件余と数多くある。これら歴史文化資源は、今後とも調査・整備・保存・継承・活用など一貫した整備に取り組むことが重要である。特に、2000（H12）年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」のひとつとして世界遺産に登録された「中城城跡」については、国内外に向けて本村の文化遺産をアピールするとともに、効果的な活用が図られるよう、周辺地域の一体的な整備に取り組むことが求められている。

伝統芸能については、「喜舎場の獅子舞・棒術」「熱田の南島(フェーヌシマ)」「島袋の赤木名節」などの無形文化財をはじめ、各字のエイサーなどが文化財保存団体や青年会などを中心に保存・継承されている。祭祀行事については、関連する拝所・旧跡とあわせて歴史的価値を調査・再評価した上で、本村の歴史を活かしたまちづくりへ活かす取り組みが進められている。

また、返還が予定されている喜舎場住宅地区及びロウワーブラザ地区などの駐留軍用地については、埋蔵文化財の調査及び適切な保護に努めることが求められている。

第 10 森林の整備その他林業の振興との関連に関する現況及び見通し

1 林業の概況

本村の森林は全て民有林であり、面積は 200ha（2020 年農林業センサス）で、人工林は少なく、殆どが天然林である。

森林は、水源かん養、土砂の流出及び崩壊防止、潮害や風害などの災害防止、二酸化炭素吸収などの多様な機能を持ち、国土保全や自然環境保全及び生活環境保全上重要な役割を果たしているとともに、村民の自然とのふれあいの場、憩いの場、学習の場として文化的環境を提供している。

今後とも、森林の持つ多様な機能に着目し、「水土保全林」（水源かん養機能、山地災害防止機能）、「森林と人との共生林」（生活環境保全機能、保健文化機能）、「資源の循環利用林」（木材等生産機能）と、森林の有する特性や発揮が期待される機能などを勘案した森林区分ごとの保全整備に努める。

2 農業振興と林業振興の関連に関する現状と問題点

森林のもつ多様な機能は、農用地保全や農業生産性の向上に資するものであり、森林の保全整備に努めるものとする。

3 林業の振興に関する諸計画の概要

本地域の森林は戦火により著しく荒廃したが、沖縄荒廃地復旧技術現地対応化調査、中南部地域林地荒廃復旧基本計画、新沖縄林業特別対策事業等の林業施策とともに、各種調査が積極的に導入されてきた。

近年においては、沖縄県において「沖縄中南部地域森林計画」（令和 2 年度制定・令和 3 年度変更）が策定されるとともに、本村においても「北中城村森林整備計画」（平成 23 年）が策定され、また「北中城村森林整備計画変更計画」（計画期間 令和 3～13 年）が進行しており、総合的な林業振興が推進されている。

第 11 地域の諸問題の解決を図るための各種の協定，申合せ等の実施状況

1 協定制度の実施状況

名 称	地区名	締結時期	有効時期	参加者	内 容	備考
該当なし		年月	年	人		

2 交換分合

(1)実施状況

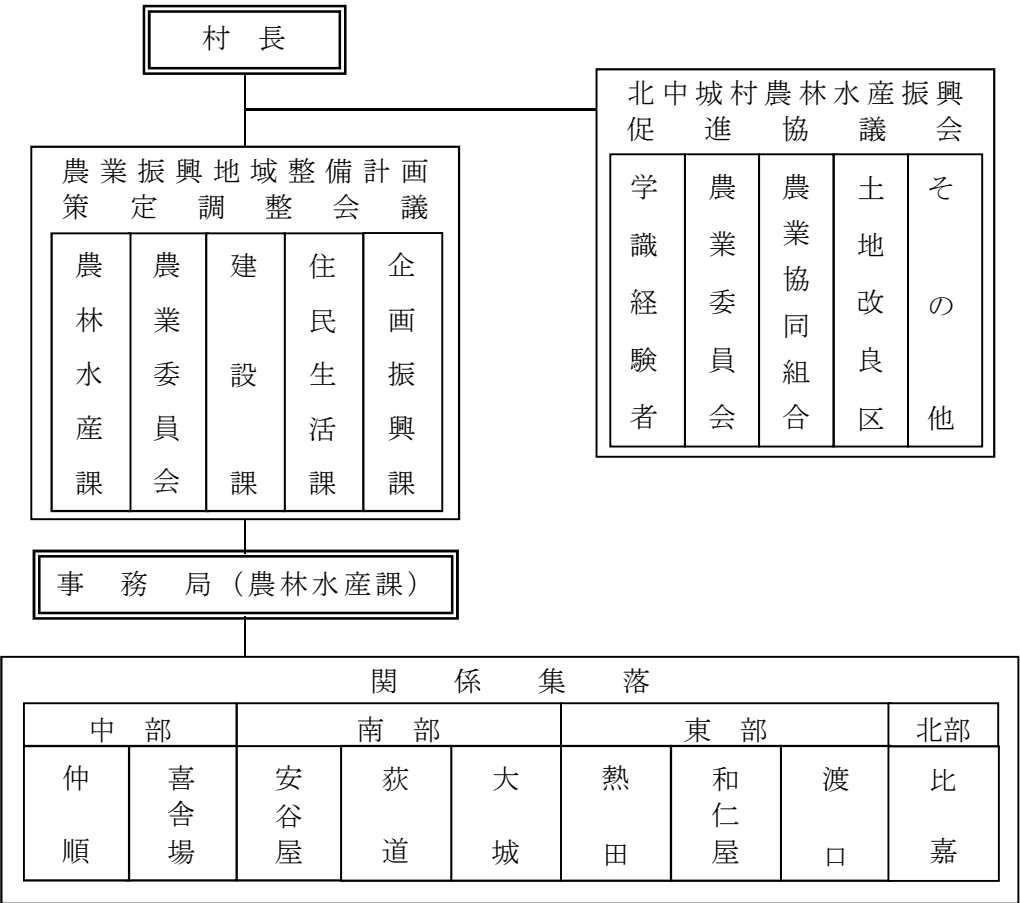
地区名	実施時期	事業主体	対象面積	参加者	備考
該当なし	年月		Ha	人	

(2)今後の見通し

該当なし

第 12 農業及び農村の振興及び整備のための推進体制等

1 推進体制図



2 財政状況

単位：千円

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
歳出合計（A）	8,532,191	8,369,874	7,410,412	7,918,197	11,517,374
農業関係費（B）	204,532	148,349	182,351	196,680	309,406
農業関係事業 村負担金	77,945	76,529	96,556	101,629	92,620
B／A（％）	2.4	1.8	2.5	2.5	2.7
財政力指数	0.52	0.57	0.64	0.68	0.69
実質収支比率（％）	6.3	12.4	7.6	8.4	3.6
実質公債費比率 （％）	6.7	7.2	7.8	7.9	7.5
経常収支比率（％）	81.2	85.1	91.1	87.9	81.6

資料：総務省 市町村別決算状況調（H28～R2）

3 その他参考となる事項

該当なし